

令和 8 年度

# 教育課程



大分県立由布支援学校

# 令和 8 年度 教育課程 目次

## I 学校経営

1	学校教育目標	P 1
2	校訓	P 1
3	目指す児童生徒像	P 1
4	基本方針	P 1
5	中期目標	P 1
6	令和 8 年度の重点目標	P 1
7	教育課程の編成と実施、並びに評価と改善に関する基本方針	P 1
	(1) 教育課程編成の基本方針	
	(2) 教育課程の実施・評価・改善	
	(3) 連携体制の構築と社会に開かれた学校づくり	
8	教育課程の構造図	P 4
9	校時表	P 5

## II 小学部教育課程

1	小学部教育目標	P 6
2	指導の形態別授業時数	P 6
3	道徳科指導計画	P 8
4	特別活動の指導計画 《学級活動指導計画、クラブ活動指導計画、 児童会活動指導計画、学校行事の指導計画》	P 9
5	自立活動指導計画	P 14
6	交流及び共同学習指導計画	P 15

## III 中学部教育課程

1	中学部教育目標	P 16
2	指導の形態別授業時数	P 16
3	道徳科指導計画	P 18
4	特別活動の指導計画 《学級活動指導計画、生徒会活動指導計画、 学校行事の指導計画》	P 19
5	総合的な学習の時間指導計画	P 23
6	自立活動の指導計画	P 27
7	交流及び共同学習指導計画	P 28
8	産業現場等における実習指導計画	P 29

## IV 高等部教育課程

1	高等部教育目標	P 30
2	指導の形態別指導時数	P 30
3	道徳科指導計画	P 32
4	特別活動の指導計画 《ホームルーム活動指導計画、生徒会活動指導計画、 学校行事の指導計画》	P 33
5	総合的な探究の時間指導計画	P 36
6	自立活動指導計画	P 38
7	交流及び共同学習指導計画	P 39
8	産業現場等における実習指導計画	P 40

V	道徳教育の全体計画	P 41
VI	キャリア教育の全体計画	P 43
VII	人権教育年間計画	P 45
VIII	食に関する指導の全体計画	P 47
IX	基本日課	P 51

# I 学校経営

## 1 学校教育目標

人権尊重の精神を踏まえ、一人一人の特性や教育的ニーズに応じた教育活動を行い、生きる力の基礎基本を養うとともに、主体的に自立と社会参加を目指し、夢と希望を持って心豊かに生きていく児童生徒の育成を図る。

## 2 校訓 明朗 努力 友情

## 3 目指す児童生徒像

- 明るく元気に挨拶をする児童生徒
- 目標に向かって取り組む児童生徒
- 決まりを守ってみんなと仲良く生活する児童生徒

## 4 基本方針

- (1) 一人一人の障がいの状況や特性等を考慮し、教育的ニーズに応じて小学部から高等部まで一貫した教育活動を行う。
- (2) 児童生徒の興味関心を大切にしながら、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した学習指導に取り組む。
- (3) 児童生徒の豊かな心を養い、自主性を育むとともに体力の向上を図る。
- (4) 生涯にわたる豊かな生活の実現（QOLの向上）を見据えたキャリア教育の視点に立ち、社会における自己の役割を認識し、自己実現、ならびに自立と社会参加を目指した進路指導を行う。
- (5) 家庭・地域・医療・福祉等関係機関との情報共有を密にし、安全・安心な教育活動と開かれた学校づくりに努める。

## 5 中期目標

- (1) きめ細やかで、一人一人の障がいの状況や特性等を考慮した、質の高い教育活動を展開する。
- (2) 児童生徒のニーズに沿った計画的・組織的な進路指導を行う。
- (3) 家庭・地域・医療・福祉等関係機関との連携による、安全・安心な学校づくりを推進する。

## 6 重点目標

- (1) 「なりたい自分」に向け、主体的に学び、考えて課題を解決しようとする児童生徒の育成
  - ・ 「キャリア発達の見取り図」および「教科等横断的な」視点を踏まえた、各学部・学年の年間指導計画のPDCAサイクルの確立
  - ・ 協働的かつ個別最適な学びを踏まえた、子どもが主体的に課題解決をする授業づくり
  - ・ 「キャリア発達の見取り図」を軸とした、本人・保護者・学校が連携するキャリア発達支援の推進
- (2) 家庭や地域、各関係機関との連携により、学校やその周辺、居住地域の安全で安心な環境の中で、他者と関わり生き生きと活動する児童生徒の育成
  - ・ 地域との豊かな関係をめざした協働的な活動の推進
  - ・ 教職員による「児童生徒の安全の維持・向上のための視点」の育成
  - ・ 児童生徒の障がいや疾病の状況に応じた、緊急時の対応訓練（搜索訓練、傷病対応訓練等）の実施と改善
- (3) 個の時間を大切に充実させると共に、ゆとりをもって児童生徒に向き合うための働き方改革の推進
  - ・ 学校行事・会議・分掌等の各業務の内容や運営の効率化及び削減（業務改善）
  - ・ 生成AIの活用による業務改善（効率化・縮減）
  - ・ 「風通しの良い職場づくり」の推進による心理的安全性の確保

## 7 教育課程の編成と実施、並びに評価と改善に関する基本方針

### (1) 教育課程編成の基本方針

本校の学校教育目標を達成し、目指す児童生徒像を具現化するための教育計画として、法令及び学習指

導要領に基づき、児童生徒一人一人の障がいの状況や特性、発達の程度を十分考慮して編成を行う。

## ア 学習内容、及び指導方法

### ア) 「生きる力」を育む学習内容

教科の学習については、原則として知的代替教科として設定されている学習内容を履修し、心身の調和的発達を図るとともに、体験的な活動や課題解決型の学習活動を重視し、社会生活で実際に活用できる「生きる力」を育むことを目指す。

### イ) 主体的・対話的で深い学びの実現

児童生徒の興味・関心を尊重し、知的な探求心を刺激する学習活動を組織する。内なる思いを引き出し、表出へとつなげる支援（足場かけ）を基盤として、自ら課題を発見し、考え、表現する「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した学習指導に取り組む。

### ウ) 豊かな心と健やかな体の育成

特別の教科「道徳」や特別活動、体験的な活動を通して、豊かな心を養い、自尊感情や自己肯定感を育む。また、体育・健康に関する指導を充実させ、基礎的な運動能力の向上と健康で安全な生活を送るための体力の向上を図る。

### エ) キャリア教育の推進

生涯にわたって「自分らしく豊かな生活」を築くことを最上位の目的とし、その基盤として「社会的役割や活動（働くこと）」を位置付ける。単なる職業技能の習得にとどまらず、将来を見通した小学部・中学部・高等部の一貫したキャリア教育を計画的に推進する。具体的な職業体験と教科等の学習を関連づけ、社会参加と自立に向かう力を総合的に育む。

### オ) 自立活動の充実と他教科等との関連

自立活動については、教育活動全体を通じて適切に行うとともに、特設する時間における指導を計画的に実施する。具体の指導にあたっては、各教科等（特別の教科「道徳」、特別活動、総合的な学習の時間等を含む）の目標や内容と密接な関連を保ちながら行い、児童生徒の自立と社会参加に必要な資質・能力を総合的に育成する。

### カ) 「外国語活動」「外国語」の取り扱い

小学部の「外国語活動」については、その指導内容の一部を学級活動の中で、歌やゲームなどを通して楽しく異文化に触れる機会として取り扱う。中学部では総合的な学習の時間の中で、高等部ではホームルーム活動、および総合的な探究の時間の中で、その指導内容の一部を中学部・高等部の「外国語」については、その指導内容の一部を、コミュニケーションの楽しさや多様な文化への理解を深める活動として取り扱う。

## イ 児童生徒の実態把握と個別最適化

### ア) 個別の教育支援計画の作成、及び個別の教育的ニーズに応じた一貫した教育

個別の教育支援計画を作成し、児童生徒一人ひとりの障がいの状況や特性、発達段階、興味・関心、保護者の願い等を詳細に把握し、個別の教育的ニーズに応じた教育活動を小学部から高等部まで一貫して展開できるようにする。

### イ) 個別の指導計画の作成と活用

児童生徒一人一人の実態に応じて、各教科等の目標、指導内容、指導方法等を設定した「個別の指導計画」を作成し、これを指導の基盤として、具体的な指導内容・方法を構築することで、個に応じた指導の充実を図る。

### ウ) 類型別の教育課程と配慮事項

児童生徒の障がいの状況や特性、発達の段階に応じた指導を効果的に行うため、以下に示す類型別の教育課程を設定する。

なお、特段の必要がある場合、その可否を就学支援委員会で審議を行い、校長の許可を得たうえで配當時数を修正することができる。

a 小学部・中学部

a) 単一障がい学級

単一障がいの児童生徒を対象とし、児童生徒の実態、生活年齢、キャリア発達の段階等を踏まえ、必要な教科等の時数を配当する。

b) 重複障がい学級

重複障がいの児童生徒を対象とする。併せ有する障がいの状況を考慮し、以下の二つの課程を設置して必要な教科等の時数を配当する。

A課程；児童生徒の実態、生活年齢、キャリア発達の段階等を踏まえ、必要な教科等の時数を配当する。

B課程；児童生徒の実態、生活年齢、キャリア発達の段階等を踏まえ、必要な教科等の時数を配当するが、併せ有する障がいの状況（主として重度の肢体不自由）を考慮し、教科の指導の一部又は全部を自立活動に振り替えたうえで必要な時数を配当する。

b 高等部

a) 職業生活科

単一障がいの生徒を対象とし、生徒の実態、生活年齢、キャリア発達の段階、及び高等部の卒業後の生活等を踏まえ、必要な教科等の時数を配当する。

b) 生活教養科

重複障がいの生徒を対象とする。併せ有する障がいの状況を考慮し、以下の二つの課程を設置して必要な教科等の時数を配当する。

A課程；生徒の実態、生活年齢、キャリア発達の段階、及び高等部の卒業後の生活等を踏まえ、必要な教科等の時数を配当する。

B課程；生徒の実態、生活年齢、キャリア発達の段階、及び高等部の卒業後の生活等を踏まえ、必要な教科等の時数を配当するが、併せ有する障がいの状況（主として重度の肢体不自由）を考慮し、教科の指導の一部又は全部を自立活動に振り替えたうえで必要な時数を配当する。

c 訪問学級（訪問教育課程 全学部共通）

障がいの状況により、継続的に登校することが困難な児童生徒を対象とする。授業の実施にあたっては、教科の指導の一部又は全部を自立活動に振り替えたうえで年間35週以上にわたって行うものとし、週当たりの時数は4単位時間（1日あたり2単位時間×週2回）を標準とする。

## （2）教育課程の実施・評価・改善

### ア 教育課程全体と個別の指導計画との接続

学校教育目標、基本方針、中期目標、重点目標に基づき、各学部・学年は年間指導計画、個別の指導計画を策定する。なお、個別の指導計画に設定する教科等の目標、及び指導方法等については、年間指導計画で設定している各項目を児童生徒一人一人の実態等に応じて調整することとする。

### イ 児童生徒一人一人の実態等に応じた指導と評価の一体化

個別の指導計画を踏まえて、児童生徒一人一人の実態等に応じた指導方法を工夫するとともに、指導の過程で計画的に評価を行い、その結果を指導の改善・充実に繋げる。

### ウ PDCAサイクルの推進

教育活動の質を向上させるため、PDCAサイクルで教育課程を継続的に評価・改善する。

その際、学部・学年ごとに、教科横断的な視点から学校・学部教育目標や個別の指導計画と単元の関連性を踏まえた検討を行う。

### (3) 連携体制の構築と社会に開かれた学校づくり

#### ア 個別の教育支援計画に基づく連携

児童生徒一人一人の教育ニーズに基づき、保護者をはじめとして、医療・福祉等の関係機関との連携を構築する。これにより、学習活動の充実、日常生活のQOLの向上を図れるようにする。

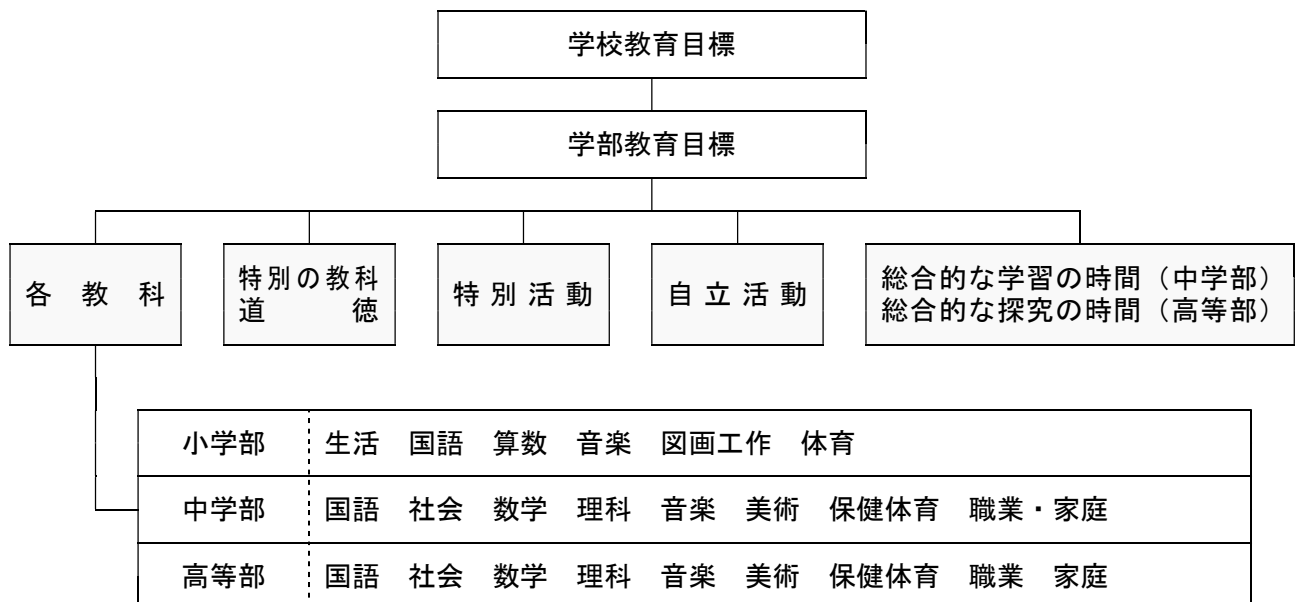
#### イ 地域等、社会資源との連携

家庭・地域・医療・福祉・就労支援機関等との緊密な情報共有と連携を強化する。これにより、児童生徒の安全・安心な教育環境を確保するだけでなく、地域社会全体で児童生徒の成長を多角的に支援し、開かれた学校づくりを推進する。

#### ウ 地域・教育関係機関との連携

地域人材や資源を積極的に活用するとともに、地域や近隣校との交流及び共同学習を積極的かつ計画的に実施する。これにより、児童生徒の社会性やコミュニケーション能力の育成を図るとともに、地域社会との連携を深め、児童生徒の多様な学びの機会を創出する。

## 8 教育課程の構造図



## 9 校時表

学部	小学部			中学部		高等部				
学年 曜日	1年 火水木	1年 月金	2年 月火水木	2年 金	月 火 木 金	水	月 火 木 金	水		
	3年 木	3年 月火水金							4~6年 火木	4~6年 月水金
	4~6年 火木	4~6年 月水金	4~6年 火木	4~6年 月水金						
	4~6年 火木	4~6年 月水金							4~6年 火木	4~6年 月水金
登校	9:00 (スクールバス登校便 由布院方面便着8:15 挟間方面便着8:55)									
1校時	9:00~9:18			9:00~9:20		9:00~9:10				
	9:18~9:36			9:20~9:40		9:10~9:40				
	9:36~9:45			9:40~9:45						
	9:45~9:50									
2校時	9:50~10:35			9:45~10:35		9:40~10:30				
	10:35~10:40			10:35~10:40		10:30~10:35				
3校時	10:40~11:25			10:40~11:30		10:35~11:25				
	11:25~11:30			11:30~11:35		11:25~11:30				
4校時	11:30~12:15			11:35~12:25		11:30~12:20				
	12:15~12:24					12:20~12:30				
5校時	12:24~13:10	12:24~13:11	13:11~13:20	13:10~14:00	12:25~13:10	14:00~14:10	14:00~14:05	14:00~14:10		
	13:10~13:55	13:55~14:01							14:01~14:10	14:05~14:55
	14:05~14:50	14:50~14:56	14:56~15:05	14:55~15:05						
	14:56~15:05	14:56~15:05							14:56~15:05	14:55~15:05
下校	15:05	14:10	13:20	15:05	14:10	15:05	14:10			

### 【下校時刻】

		月	火	水	木	金
小学部	1年生	13:20			14:10	13:20
	2年生		14:10			
	3年生	14:10		14:10		
	4~6年生		15:05		15:05	14:10
中学部 高等部		15:05	15:05	14:10	15:05	15:05
スクールバス 下校便発車時刻		15:10	15:10	14:15	15:10	15:10

## II 小学部教育課程

### 1 小学部教育目標

- 心身共に明るく元気で、身体を動かすことを楽しむ児童を育てる。
- 日常生活に必要な生活習慣を身につけ、自分でしようとする児童を育てる。
- 各教科等の学習を通して必要な資質・能力を育成するとともに、学んだことを生活の中で意欲的に使おうとする児童を育てる。
- 集団の中で友だちや教師との関わりを楽しみ、自分の気持ちや考えを持ち、それを表現しようとする児童を育てる。
- 社会及び自然の特徴や自分との関わりなど自分の身のまわりの事ごとに興味・関心を持ち、主体的に学ぶ児童を育てる。

### 2 指導の形態別授業時数

#### (1) 単一障がい学級

指導の形態		1年	2年	3年	4年	5年	6年
各教科等を 合わせた指 導	日常生活の指導	-	-	-	-	-	-
	遊びの指導	-	-	-	-	-	-
	生活単元学習	-	-	-	-	-	-
生活	306	350.5	350.5	402.5	402.5	402.5	
国語	85	87.5	105	122.5	122.5	122.5	
算数	68	70	87.5	105	105	105	
音楽	68	70	70	70	70	70	
図画工作	34	35	35	35	35	35	
体育	136	140	140	140	140	140	
特別の教科 道徳	17	17	17	17	17	17	
特別活動	学級活動	34	35	35	35	35	35
自立活動		102	105	140	88	88	88
総授業時数		850	910	980	1015	1015	1015

#### 【備考】

◎授業の1単位時間は45分である。

## (2) 重複障がい学級

指導の形態		1年		2年		3年		4年		5年		6年	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	遊びの指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生活単元学習	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活		306	272	350.5	315.5	350.5	315.5	402.5	367.5	402.5	367.5	402.5	367.5
国語		85	34	87.5	35	105	35	122.5	70	122.5	70	122.5	70
算数		68	34	70	35	87.5	35	105	70	105	70	105	70
音楽		68	68	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
図画工作		34	34	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
体育		136	-	140	-	140	-	140	-	140	-	140	-
特別の教科 道徳		17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
特別活動	学級活動	34	34	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
自立活動		102	357	105	367.5	140	437.5	88	350.5	88	350.5	88	350.5
総授業時数		850		910		980		1015		1015		1015	

## 【備考】

◎ 授業の1単位時間は45分である。

## (3) 訪問学級

指導の形態		1年	2年	3年	4年	5年	6年
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	-	-	-	-	-	-
	遊びの指導	-	-	-	-	-	-
	生活単元学習	-	-	-	-	-	-
生活		50	50	50	50	50	50
国語		5	5	5	5	5	5
算数		5	5	5	5	5	5
音楽		17	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5
図画工作		17	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5
体育		-	-	-	-	-	-
特別の教科 道徳		5	5	5	5	5	5
特別活動	学級活動	5	5	5	5	5	5
自立活動		34	35	35	35	35	35
総授業時数		138	140	140	140	140	140

## 【備考】

◎ 基本授業回数・時間は週2回で、1日2時間（90分）とする。

◎ 授業の1単位時間は45分である。

### 3 道徳科指導計画

	1年 2年 3年			4年 5年 6年		
	教材名	内容項目	配当時間	教材名	内容項目	配当時間
4月	気持ちよい生活をしよう (整理・整頓)	A 節度、節制	1	気持ちよい生活をしよう (整理・整頓)	A 節度、節制	1
5月	人権・平和学習をしよう ①(きまり)	C 規則の尊重	1	人権・平和学習をしよう ①(きまり)	C 規則の尊重	1
	なかよくしよう (1年みんなであのしく)	B 友情、信頼 C よりよい学校生活	1	「正直」について考えよう (1年きんのおの)	A 正直、誠実	1
6月	環境学習をしよう①	D 自然愛護	1	みんながよい気持ちで過ごすためには?①(実態によっては情報モラルについても扱う)	C 規則の尊重 C よりよい学校生活、集団の生活の充実	1
	自分の身体について学習しよう(性教育①)	B 友情 信頼 D 生命の尊さ	1	自分の身体のことや他人との適切な接し方について学習しよう(性教育①)	B 友情 信頼 D 生命の尊さ	1
7月	人権・平和学習をしよう ②(原爆)	D 生命の尊さ	1	人権・平和学習をしよう ②(原爆)	D 生命の尊さ	1
8・9月	ボランティア活動をしよう①	C 勤労、公共の精神	1	ボランティア活動をしよう	C 勤労、公共の精神	1
9月	ものをたいせつにしよう (1年きいろいベンチ)	C 規則の尊重	1	「ありがとう」のことばで伝えよう(2年がっこうまでのみち)	B 感謝	1
10月	友だちのよいところを見つけよう (1年みんなのよいところは?)	C よりよい学校生活、集団の生活の充実	1	友だちのよいところを見つけよう (2年「きらきら」みつけた)	C よりよい学校生活、集団の生活の充実	1
11月	いのちの誕生について学習しよう(性教育②)	B 友情 信頼 D 生命の尊さ	1	みんながよい気持ちで過ごすためには?②(実態によっては情報モラルについても扱う)	C 規則の尊重 C よりよい学校生活、集団の生活の充実	1
12月	人権・平和学習をしよう ③(なかよく)	C よりよい学校生活、集団の生活の充実	1	人権・平和学習をしよう ③(なかよく)	C よりよい学校生活、集団の生活の充実	1
1月	してはいけないことを考えよう(1年ひつじかいとおおかみ)	A 善悪の判断、自律、自由と責任	1	気持ちのよい生活をしよう(基本的な生活習慣)(2年できるよポンタくん)	A 節度、節制	1
	環境学習をしよう②	D 自然愛護	1	環境学習をしよう	D 自然愛護	1
2月	ボランティア活動をしよう②	C 勤労、公共の精神	1	男女のからだについて学習しよう(性教育②)	B 友情 信頼 D 生命の尊さ	1
	人権・平和学習をしよう ④(世界平和)	C 国際理解、国際親善	1	人権・平和学習をしよう ④(世界平和)	C 国際理解、国際親善	1
3月	感謝のカードを書こう	B 感謝	2	感謝のカードを書こう	B 感謝	2
	時間合計		17	時間合計		17

## 4 特別活動の指導計画

### (1) 目標

互いのよさや自己の可能性を発揮しながら、様々な集団活動を経験し、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成しようとする社会性や豊かな人間性を育む。

### (2) 内容

#### ①学級活動

目標・・・学級内の組織作りや生活上の諸問題の解決などの活動を通して、学級や学校生活の充実と向上を図り、望ましい人間関係や健全な生活態度を育てる。

#### ②児童会活動

目標・・・教師や友だちと一緒に学校生活の充実と向上を図るための諸問題を解決する活動、学校内の仕事を分担し協力して取り組む活動を行うことによって自主性と社会性を育てる。

#### ③クラブ活動

目標・・・児童の興味・関心を追求する集団活動を計画したり、役割を分担協力したりしながら、様々な活動を経験することを通して、個性の伸長を図り、将来の余暇の活動ができる力を育てる。

#### ④学校行事

目標・・・学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

※学校行事については、他の指導形態と密接な関連を図りながら目的が達成されるようにする。

(3) 学級活動指導計画

	1年		2年		3年	
	題材名	配当時間	題材名	配当時間	題材名	配当時間
4月	新しい学級について知ろう 1学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	4	新しい学級について知ろう 1学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2	新しい学級について知ろう 1学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2
5月	運動会を成功させよう	4	運動会を成功させよう	4	運動会を成功させよう	4
6月	学校の図書館を利用しよう	1	阿南小学校と交流をしよう①	2	阿南小学校と交流をしよう①	2
7月	1学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) 夏休みの過ごし方を考えよう	2	1学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) 夏休みの過ごし方を考えよう	2	1学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) 夏休みの過ごし方を考えよう	2
8・9月	2学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2	2学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2	2学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2
10月	防災学習をしよう①	2	防災学習をしよう①	2	防災学習をしよう①	2
	長宝祭を成功させよう	6	長宝祭を成功させよう	6	長宝祭を成功させよう	6
11月			外国語に親しもう	1	外国語に親しもう	1
12月	学校の図書館を利用しよう	1	阿南小学校と交流をしよう②	2	阿南小学校と交流をしよう②	2
	2学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) 冬休みの過ごし方を考えよう	2	2学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) 冬休みの過ごし方を考えよう	2	2学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) 冬休みの過ごし方を考えよう	2
1月	3学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2	3学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2	3学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2
2月	防災学習をしよう②	1	防災学習をしよう②	1	防災学習をしよう②	1
3月	卒業生を送り出そう	5	卒業生を送り出そう	5	卒業生を送り出そう	5
	3学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) 春休みの過ごし方を考えよう	2	3学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) 春休みの過ごし方を考えよう	2	3学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) 春休みの過ごし方を考えよう	2
	時間合計	34	時間合計	35	時間合計	35

	4年		5年		6年	
	題材名	配当時間	題材名	配当時間	題材名	配当時間
4月	新しい学級について知ろう ..... 1学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2	新しい学級について知ろう ..... 1学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2	新しい学級について知ろう ..... 1学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2
5月	運動会を成功させよう	4	運動会を成功させよう	4	運動会を成功させよう	4
6月	阿南小学校と交流をしよう①	2	阿南小学校と交流をしよう①	2	阿南小学校と交流をしよう①	2
7月	1学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) ..... 夏休みの過ごし方を考えよう	2	1学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) ..... 夏休みの過ごし方を考えよう	2	1学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) ..... 夏休みの過ごし方を考えよう	2
8・9月	2学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2	2学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2	2学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2
10月	防災学習をしよう①	2	防災学習をしよう①	2	防災学習をしよう①	2
	長宝祭を成功させよう	6	長宝祭を成功させよう	6	長宝祭を成功させよう	6
11月	外国語に親しもう	1	外国語に親しもう	1	外国語に親しもう	1
12月	阿南小学校と交流をしよう②	2	阿南小学校と交流をしよう②	2	阿南小学校と交流をしよう②	2
	2学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) ..... 冬休みの過ごし方を考えよう	2	2学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) ..... 冬休みの過ごし方を考えよう	2	2学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) ..... 冬休みの過ごし方を考えよう	2
	3学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2	3学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2	3学期の目標や係を決めよう (キャリアノート)	2
2月	防災学習をしよう②	1	防災学習をしよう②	1	防災学習をしよう②	1
3月	卒業生を送り出そう	5	卒業生を送り出そう	5	小学部での生活を締めくくろ う	7
	3学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) ..... 春休みの過ごし方を考えよう	2	3学期の目標等の反省をしよう (キャリアノート) ..... 春休みの過ごし方を考えよう	2		
	時間合計	35	時間合計	35	時間合計	35

(4) クラブ活動指導計画

クラブの名称	年間指導計画の概要	年間実施時間	備 考
文化的クラブ	折り紙、絵画、工作、音楽鑑賞、映画鑑賞、動画鑑賞 など	11時間 (月に1時間)	児童の要望で内容を決定する人数を調整し、3グループ程度に分ける
体育的クラブ	風船バレー、バドミントン、リズム運動、体を動かす遊び など		

※実際の指導においては、文化的・体育的内容を織り交ぜて子どもの要望を聞き内容を決定し、人数を調整し、3グループ程度に分けて実施する。そのため、上記の表は実施内容の例である。

(5) 児童会活動指導計画

月	活 動 内 容	配当時間
4 月	児童生徒会活動（5・6年） 全校集会（1） 歓迎遠足（学校行事）	1
5 月	児童生徒会活動（5・6年） 運動会（学校行事）	0
6 月	児童生徒会活動（5・6年） 全校集会（1）	1
7 月	児童生徒会活動（5・6年）	0
8 月		0
9 月	児童生徒会活動（5・6年） 全校集会（1）	1
10 月	児童生徒会活動（5・6年） 長宝祭（学校行事）	0
11 月		0
12 月	児童生徒会活動（5・6年） 全校集会（1） 児童生徒会役員改選（5・6年）	1
1 月	児童生徒会活動（5・6年） 全校集会（1）	1
2 月	児童生徒会活動（5・6年） 全校集会（1）	1
3 月		0
時間合計		6

※児童生徒会活動は、高学年（5・6年生）のみ行う。

※本校での小学部児童会及び中学部・高等部生徒会の組織は、三学部統合して「由布支援学校児童生徒会」とする。

(6) 学校行事の指導計画

月	儀式的行事	文化的行事	保健安全・体育的行事		旅行・集団 宿泊的行事	勤労生産 ・奉仕的行事	時数合計					
							1年	2年	3年	4年	5年	6年
4月	始業式 (2~6年) 1		身体測定 視力測定 聴力測定 耳鼻咽喉科 検診 1	交通安全教室 2	歓迎行事 4		8	9	9	9	9	9
	入学式 1											
5月			外科検診 内科結核検 診 1	運動会 3			5	5	5	5	5	5
				避難訓練 1								
6月			精神科検診 歯科検診 心臓検診 (1年) 1				1	0	0	0	0	0
7月	終業式 1		身体測定				1	1	1	1	1	1
8・9月	始業式 1		身体測定				1	1	1	1	1	1
10月		長宝祭2026 3			修学旅行 (5・6年) 12		3	3	3	3	15	15
11月					秋の遠足 5		5	5	5	5	5	5
12月	終業式 1						1	1	1	1	1	1
1月	始業式 1		身体測定	避難訓練 2			3	3	3	3	3	3
2月							0	0	0	0	0	0
3月	卒業式 1						2	2	2	2	2	1
	修了式 (1~5年) 1											
時 数 の 計	1年	7	3	11	9	0	30					
	2年	8	3	10	9	0	30					
	3年	8	3	10	9	0	30					
	4年	8	3	10	9	0	30					
	5年	8	3	10	21	0	42					
	6年	7	3	10	21	0	41					

## 5 自立活動指導計画

### (1) 目標

個々の児童が自立を目指し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基礎を培う。

### (2) 指導方針

- ①すべての児童に対して、「自立活動の時間における指導」及び「自立活動の指導（学校の教育活動全体を通して行う指導）」の中で行う。
- ②発達の段階や特性に配慮して学習課題を設定し、自立を目指した活動を通して、社会生活に積極的に参加できる能力・態度を養う。

### (3) 指導計画

#### ①指導内容

・学習指導要領に示された六つの区分27項目の内容の中から、個々の児童に必要とされる項目を選定し、それらを相互に関連付け、具体的な指導内容を設定する。

#### ②授業の形態

- ・個別指導
- ・課題（グループ別）指導

#### ③授業時数（時間における指導）

指導の形態		1年	2年	3年	4年	5年	6年
単一障がい学級		102	105	140	88	88	88
重複障がい学習	A	102	105	140	88	88	88
	B	357	367.5	437.5	350.5	350.5	350.5
訪問学級		34	35	35	35	35	35

### (4) 指導上の配慮事項

- ①児童が興味をもって主体的に取り組み、成就感を味わうとともに自己を肯定的に捉えることができる内容を選択する。
- ②児童が障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲を高めたり、発達の遅れている側面を補ったりするために、発達の進んでいる側面をさらに伸ばすようにする。
- ③個々の児童が活動しやすいように自ら環境を整えたり、必要に応じて周囲の人に支援を求めたりすることができる内容を計画的に設定する。
- ④個々の児童に対し、思考・判断・表現する力を高めることができるよう、自己選択・自己決定する機会を設ける。
- ⑤個々の児童が、自立活動における学習の意味を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力との関係において理解し、取り組めるようにする。
- ⑥学校と家庭・施設との一貫した指導が行えるよう、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」等を活用するとともに、必要に応じて主治医・その他の関係医療・療育機関等と連携する。

## 6 交流及び共同学習指導計画

### (1) 学校間交流

#### ①目的

地域の学校の児童との交流及び共同学習を通して、本校児童の経験を広げ、積極的な態度を養い、社会性豊かな人間性を育む。

#### ②年間指導計画

学年	人数	実施月 (予定)	1回当たりの 実施時間	指導の 形態名	具体的な内容	交流相手 校名	学年等	引率 教員数
2年	単一障がい学級 4名	6月	2	学級 活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれ学校の紹介をしたり自己紹介をしたりする。</li> <li>・ボッチャや的当て、音楽等の活動と一緒にやる。</li> </ul>	由布市立 阿南小学校	2	2
3年	単一障がい学級 4名						3	2
4年	単一障がい学級 6名	1 2月	2				4	3
5年	単一障がい学級 2名 重複障がい学級 3名						5	3
6年	単一障がい学級 7名						6	3

### (2) 居住地校交流

#### ①目的

居住地の児童との交流及び共同学習を通して、本校児童の経験を広げ、社会性豊かな人間性と地域の一員としての自覚を育む。

#### ②年間指導計画

学年	人数	実施月 (予定)	1回当たりの 実施時間	指導の 形態名	具体的な内容	交流相手 校名	学年等	引率 教員数
2年	単一障がい学級 (未定)	1 0月	1～2	学級 活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校児童が小学校を訪れて、ゲームや音楽等の集会活動と一緒にいたり、一部の教科学習を共に受けたりする。</li> </ul>	由布市立 挾間小学校	2	未定
3年	単一障がい学級 1名					由布市立 東庄内小学校	3	1
4年	単一障がい学級 4名					由布市立 西庄内小学校	4	4
5年	単一障がい学級 0名 重複障がい学級 2名					由布市立 由布川小学校	5	2
6年	単一障がい学級 1名					由布市立 阿南小学校	6	1

※ 居住地校交流は事前に希望調査を行い、希望者のみが交流を行う。

### Ⅲ 中学部教育課程

#### 1 中学部教育目標

- 心身ともに明るく元気で、進んで身体を動かす生徒を育てる。
- 日常生活、社会生活に必要な生活習慣を身につけ、進んで考え判断し取り組む生徒を育てる。
- 各教科等の学習を通して必要な資質・能力を育成するとともに、学んだことをもとに進んで考え行動する生徒を育てる。
- 集団の中で友だちや教師との関わり方を学び、進んで自分の役割を果たす生徒を育てる。
- 社会生活に必要な基礎的知識・技能を身につけ、働くことに意欲を持つ生徒を育てる。

#### 2 指導の形態別授業時数

##### (1) 単一障がい学級

指導の形態		1年	2年	3年
各教科等を 合わせた指 導	日常生活の指導	－	－	－
	生活単元学習	－	－	－
	作業学習	－	－	－
国 語		114	114	114
社 会		35	35	35
数 学		114	114	114
理 科		35	35	35
音 楽		70	70	70
美 術		35	35	35
保健体育		140	140	140
職業・家庭		210	210	210
特別の教科 道徳		17	17	17
総合的な学習の時間		70	70	70
特別活動	学級活動	35	35	35
自立活動		140	140	140
総授業時数		1015	1015	1015

#### 【備考】

- ◎ 授業の1単位時間は50分である。

## (2) 重複障がい学級

指導の形態		1年		2年		3年	
		A	B	A	B	A	B
各教科等を 合わせた指 導	日常生活の指導	—	—	—	—	—	—
	生活単元学習	—	—	—	—	—	—
	作業学習	—	—	—	—	—	—
国 語		114	17.5	114	17.5	114	17.5
社 会		35	35	35	35	35	35
数 学		114	17.5	114	17.5	114	17.5
理 科		35	35	35	35	35	35
音 楽		70	70	70	70	70	70
美 術		35	35	35	35	35	35
保健体育		140	—	140	—	140	—
職業・家庭		210	—	210	—	210	—
特別の教科 道徳		17	17	17	17	17	17
総合的な学習の時間		70	70	70	70	70	70
特別活動	学級活動	35	35	35	35	35	35
自立活動		140	683	140	683	140	683
総授業時数		1015	1015	1015	1015	1015	1015

## 【備考】

◎授業の1単位時間は50分である。

## (3) 訪問学級

指導の形態		1年	2年	3年
各教科等を 合わせた指 導	日常生活の指導	—	—	—
	生活単元学習	—	—	—
	作業学習	—	—	—
国 語		12.5	12.5	12.5
社 会		—	—	—
数 学		12.5	12.5	12.5
理 科		—	—	—
音 楽		17.5	17.5	17.5
美 術		17.5	17.5	17.5
保健体育		—	—	—
職業・家庭		—	—	—
特別の教科 道徳		5	5	5
総合的な学習の時間		35	35	35
特別活動	学級活動	5	5	5
自立活動		35	35	35
総授業時数		140	140	140

## 【備考】

◎基本授業回数・時間は週2回で、1日2単位時間（100分）とする。

### 3 道徳科指導計画

	1年 2年 3年			配当時間
	教材名	内容項目		
4月	自分で決める	A自主、自律、自由と責任		1
5月	きまりや人権の大切さを知る（人権・平和学習①）	C 遵法精神、公德心		1
5月	思いやりに応える	B 思いやり、感謝		1
6月	みんなのために	C 社会参画、公共の精神		1
6月	公平に接する	C 公正、公平、社会正義		1
7月	平和の大切さを知る（人権・平和学習②）	C 国際理解、国際貢献		1
9月	新たな発想を生み出す	A 真理の探求、創造		1
9月	自分らしさを伸ばす	A 向上心、個性の伸長		1
10月	互いにわかりあう	B 相互理解、寛容		1
11月	友情を深める	B 友情、信頼		1
11月	今の生活について考える	A 節度、節制		1
12月	平和の大切さ知る（人権・平和学習③）	B 相互理解、寛容		1
1月	自然を守り抜く	D 自然愛護		1
1月	集団の一人として	C よりよい学校生活、集団生活の充実		1
2月	平和の大切さ知る（人権・平和学習④）	C 公正、公平、社会正義		1
3月	今の自分について考える	A 自主、自律、自由と責任		2
時間合計				17

## 4 特別活動の指導計画

### (1) 目標

集団活動を通して、心身の調和のとれた成長と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方について学び、自己を生かす能力を養う。

### (2) 内容

#### ①学級活動

目標…学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てるとともに、自己を生かす能力を養う。

#### ②児童生徒会活動（委員会活動を含む）

目標…児童生徒会活動における諸問題を解決する活動や、学校行事への取り組みなどの活動を通して、よりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己を生かす能力を養う。

#### ③学校行事

目標…学校行事を通して、日頃の学習の総合的・効果的な発展を図り、全校及び学部集団への所属感を深め、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己を生かす能力を養う。

## (3) 学級活動指導計画

	1 年		2 年		3 年	
	題材名	配当時間	題材名	配当時間	題材名	配当時間
4 月	新しい学級の準備をしよう	1	新しい学級の準備をしよう	1	新しい学級の準備をしよう	1
	新入生を迎えよう	2	新入生を迎えよう	2	新入生を迎えよう	2
	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1
5 月	運動会を成功させよう	3	運動会を成功させよう	3	運動会を成功させよう	3
	学校月めあての反省をしよう	1	学校月めあての反省をしよう	1	学校月めあての反省をしよう	1
6 月	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1
7 月	学校月めあての反省をしよう	1	学校月めあての反省をしよう	1	学校月めあての反省をしよう	1
	1 学期の反省と夏休みの生活を考えよう	1	1 学期の反省と夏休みの生活を考えよう	1	1 学期の反省と夏休みの生活を考えよう	1
9 月	2 学期の学級準備をしよう	1	2 学期の学級準備をしよう	1	2 学期の学級準備をしよう	1
	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1
10 月	学校月めあての反省をしよう	1	学校月めあての反省をしよう	1	学校月めあての反省をしよう	1
	長宝祭を成功させよう	5	長宝祭を成功させよう	5	長宝祭を成功させよう	5
11 月	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1
12 月	学校月めあての反省をしよう	1	学校月めあての反省をしよう	1	学校月めあての反省をしよう	1
	2 学期の反省と冬休みの生活を考えよう	1	2 学期の反省と冬休みの生活を考えよう	1	2 学期の反省と冬休みの生活を考えよう	1
1 月	3 学期の学級準備をしよう	1	3 学期の学級準備をしよう	1	3 学期の学級準備をしよう	1
	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1	学校月めあての具体的取り組みを考えよう	1
2 月	学校月めあての反省をしよう	1	学校月めあての反省をしよう	1	学校月めあての反省をしよう	1
	お楽しみ会をしよう	4	お楽しみ会をしよう	4	お楽しみ会をしよう	4
3 月	3年生を送り出そう	5	3年生を送り出そう	5	3 学期の反省と春休みの生活を考えよう	1
	3 学期の反省と春休みの生活を考えよう	1	3 学期の反省と春休みの生活を考えよう	1	中学部 3 年間の生活を締めくくろう	5
	時間合計	35	時間合計	35	時間合計	35

(4) 生徒会活動指導計画

月	活 動 内 容	配当 時間
4 月	児童生徒会委員会活動 (1) 全校集会 (1) 歓迎行事 (学校行事)	2
5 月	児童生徒会委員会活動 (2) 運動会 (学校行事)	2
6 月	全校集会 (1)	1
7 月	児童生徒会委員会活動 (1)	1
8 月		0
9 月	児童生徒会委員会活動 (1) 全校集会 (1)	2
10 月	児童生徒会委員会活動 (1) 長宝祭 (学校行事)	1
11 月		0
12 月	児童生徒会委員会活動 (1) 全校集会 (1) 児童生徒会役員改選 (2)	4
1 月	児童生徒会委員会活動 (1) 全校集会 (1)	2
2 月	児童生徒会委員会活動 (1) 全校集会 (1)	2
3 月		0
時間合計		17

※本校での小学部児童会及び中学部・高等部生徒会の組織は、三学部統合して「由布支援学校児童生徒会」とする。

(5) 学校行事の指導計画

月	儀式的行事		文化的行事	保健安全・体育的行事		旅行・集団 宿泊の行事	勤労生産 ・奉仕の行事	時数合計						
								1年	2年	3年				
4月	始業式 (2・3年)	1		身体測定 視力測定 聴力測定 耳鼻咽喉科 検診	1	交通安全教室	2	歓迎行事	4			8	9	9
	入学式	1												
5月				外科検診 内科結核検 診	1	運動会	3					5	5	5
						避難訓練	1							
6月				精神科検診 歯科検診 心臓検診 (1年)	1							1	0	0
7月	終業式	1		身体測定								1	1	1
8・9月	始業式	1		身体測定								1	1	1
10月			長宝祭2026	3								3	3	3
11月								修学旅行 (3年)	18			0	0	18
12月	終業式	1										1	1	1
1月	始業式	1		身体測定		避難訓練	2					3	3	3
2月												0	0	0
3月	卒業式	1										2	2	1
	修了式 (1・2年)	1												
時数の計	1年	7	3	11				4		0	25			
	2年	8	3	10				4		0	25			
	3年	7	3	10				22		0	42			

## 5 総合的な学習の時間指導計画

(1) 総合的な学習の時間の名称 「総合的な学習の時間」

(2) 総合的な学習の時間の目標

生活体験・社会体験・職業体験等の体験学習として、教科等横断的・総合的な学習活動を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ・ 探究的な学習の過程において日常生活、社会生活、職業生活に関する課題の解決に必要な知識・技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- ・ 日常生活、社会生活、職業生活から問いを見だし、自分で課題を立て、自ら情報を集め、整理・分析して、まとめ表現することができるようにする。
- ・ 探究的な学習に、主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

(3) 実施学年

実施学年及び生徒数			授業時数	指導を行う方法		
1年	2年	3年	全学年	学習集団	学校外の施設等利用	指導者人数
10名	4名	7名	70	学年、又は学部合同	商業施設、事業所、公共交通機関等	9名

(4) 学習計画

【1年】

実施時期	学習事項	配当時数	学習内容
4月	キャリアノートで今の自分を振り返ろう	2	キャリアノートを通して、教師と対話しながら自己理解を深める
5月	地域とつながろう①	4	地域と連携した体験活動を通して、地域の営みについて理解する
6月	地域の企業を見学しよう	4	職場見学に行き、働くことの意義や、作業環境の整備等に関する気づき、自己の課題等についてまとめる
6・7月	公共の施設について調べよう	10	公共の施設と日ごろの生活との関係について調べ、課題を発見したり解決方法を考えたりする
7月	庄内中学校と交流をしよう	3	庄内中学校との交流について、企画を考えて協働し、相互理解を深める
7月	キャリアノートで1学期の自分を振り返ろう	2	キャリアノートを通して、教師と対話しながら自己理解を深める
10月	長宝祭の準備をしよう	8	これまでの学習活動を振り返りながら、取りまとめるとともに、発表に向けて準備をする
11月	企業の仕事を体験しよう（校内実習）	10	企業から受注した仕事を果たす体験を通して、課題を発見したり解決方法を考えたりする

1 1月	由布市の事業所の仕事を体験しよう	2	福祉事業所の仕事体験を通して、「働くこと」についての課題を発見したり解決方法を考えたりする
1 1月	湧水茶屋で販売をしよう①	3	学校で製作した製品を商業施設で販売する体験を通して、課題を発見したり解決方法を考えたりする
1 2月	庄内中学校と交流をしよう	3	庄内中学校との交流について、企画を考えて協働し、相互理解を深める
1 2月	キャリアノートで2学期の自分を振り返ろう	2	キャリアノートを通して、教師と対話しながら自己理解を深める
1 2・1月	余暇の過ごし方を考えて体験しよう	8	商業施設、公共交通機関の利用に際しての課題発見とその解決方法を考える（事前・事後学習含む）
2月	地域とつながろう②	3	地域と連携した体験活動を通して、地域の営みについて理解する
3月	キャリアノートで1年間の自分を振り返ろう	2	キャリアノートを通して、教師と対話しながら自己理解を深める
年4回	国際交流をしよう	4	A L Tを交えての異文化交流を図る

## 【2 年】

実施時期	学習事項	配当時数	学習内容
4月	キャリアノートで今の自分を振り返ろう	2	キャリアノートを通して、教師と対話しながら自己理解を深める
5月	地域とつながろう①	3	地域と連携した体験活動を通して、地域の営みについて理解する
6月	湧水茶屋で販売をしよう①	4	学校で製作した製品を商業施設で販売する体験を通して、課題を発見したり解決方法を考えたりする
6・7月	公共の施設について調べよう	8	公共の施設と日ごろの生活との関係について調べ、課題を発見したり解決方法を考えたりする
7月	庄内中学校と交流をしよう	3	庄内中学校との交流について、企画を考えて協働し、相互理解を深める
7月	キャリアノートで1学期の自分を振り返ろう	2	キャリアノートを通して、教師と対話しながら自己理解を深める
9月	いろいろな職場を体験して調べよう (体験実習)	5	企業等での体験を通して、「働くこと」についての課題を発見したり解決方法を考えたりする
1 0月	長宝祭の準備をしよう	8	これまでの学習活動を振り返りながら、取りまとめるとともに、発表に向けて準備をする
1 1月	学校をもっと便利に快適に	8	学校生活の中で不便に感じることや、改善したいことを見つけ、その解決策を提案・実行する

1 1月	由布市の事業所の仕事を体験しよう	2	福祉事業所の仕事体験を通して、「働くこと」についての課題を発見したり解決方法を考えたりする
1 1月	湧水茶屋で販売をしよう②	3	学校で製作した製品を商業施設で販売する体験を通して、課題を発見したり解決方法を考えたりする
1 2月	庄内中学校と交流をしよう	3	庄内中学校との交流について、企画を考えて協働し、相互理解を深める
1 2月	キャリアノートで2学期の自分を振り返ろう	2	キャリアノートを通して、教師と対話しながら自己理解を深める
1 2・1月	余暇の過ごし方を考えて体験しよう	8	商業施設、公共交通機関の利用に際しての課題発見とその解決方法を考える（事前・事後学習含む）
2月	地域とつながろう②	3	地域と連携した体験活動を通して、地域の営みについて理解する
3月	キャリアノートで1年間の自分を振り返ろう	2	キャリアノートを通して、教師と対話しながら自己理解を深める
年4回	国際交流をしよう	4	A L Tを交えての異文化交流を図る

### 【3 年】

実施時期	学習事項	配当時数	学習内容
4月	キャリアノートで今の自分を振り返ろう	2	キャリアノートを通して、教師と対話しながら自己理解を深める
5月	地域とつながろう①	3	地域と連携した体験活動を通して、地域の営みについて理解する
6月	湧水茶屋で販売をしよう①	4	学校で製作した製品を商業施設で販売する体験を通して、課題を発見したり解決方法を考えたりする
6・7月	公共の施設について調べよう	8	公共の施設と日ごろの生活との関係について調べ、課題を発見したり解決方法を考えたりする
7月	庄内中学校と交流をしよう	3	庄内中学校との交流について、企画を考えて協働し、相互理解を深める
7月	キャリアノートで1学期の自分を振り返ろう	2	キャリアノートを通して、教師と対話しながら自己理解を深める
9月	いろいろな職場を体験して調べよう (体験実習)	5	企業等での体験を通して、「働くこと」についての課題を発見したり解決方法を考えたりする
1 0月	長宝祭の準備をしよう	8	これまでの学習活動を振り返りながら、取りまとめるとともに、発表に向けて準備をする
1 1月	修学旅行に行こう	8	集団生活の中で友だちと協力して活動したり、見学地での適切な利用方法やマナーについて考える

1 1 月	由布市の事業所の仕事を体験しよう	2	福祉事業所の仕事体験を通して、「働くこと」についての課題を発見したり解決方法を考えたりする
1 1 月	湧水茶屋で販売をしよう②	3	学校で製作した製品を商業施設で販売する体験を通して、課題を発見したり解決方法を考えたりする
1 2 月	庄内中学校と交流をしよう	3	庄内中学校との交流について、企画を考えて協働し、相互理解を深める
1 2 月	キャリアノートで2学期の自分を振り返ろう	2	キャリアノートを通して、教師と対話しながら自己理解を深める
1 2 ・ 1 月	余暇の過ごし方を考えて体験しよう	8	商業施設、公共交通機関の利用に際しての課題発見とその解決方法を考える（事前・事後学習含む）
2 月	卒業に向けた準備をしよう	5	地域と連携した体験活動を通して、地域の営みについて理解する
3 月	キャリアノートで3年間の自分を振り返ろう	2	キャリアノートを通して、教師と対話しながら自己理解を深める
年 4 回	国際交流をしよう	2	A L Tを交えての異文化交流を図る

## 6 自立活動指導計画

### (1) 目標

個々の生徒が自立を目指し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基礎を培う。

### (2) 指導方針

- ①すべての生徒に対して、「自立活動の時間における指導」及び「自立活動の指導（学校の教育活動全体を通して行う指導）」の中で行う。
- ②発達の段階や特性に配慮して学習課題を設定し、自立を目指した活動を通して、社会生活に積極的に参加できる能力・態度を養う。

### (3) 指導計画

#### ①指導内容

・学習指導要領に示された六つの区分27項目の内容の中から、個々の生徒に必要なとされる項目を選定し、それらを相互に関連付け、具体的な指導内容を設定する。

#### ②授業の形態

- ・個別指導
- ・課題（グループ別）指導

#### ③授業時数（時間における指導）

指導の形態		1年	2年	3年
単一障がい学級		140	140	140
重複障がい学級	A	140	140	140
	B	683	683	683
訪問学級		35	35	35

### (4) 指導上の配慮事項

- ①生徒が興味をもって主体的に取り組み、成就感を味わうとともに自己を肯定的に捉えることができる内容を選択する。
- ②生徒が障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲を高めたり、発達の遅れている側面を補ったりするために、発達の進んでいる側面をさらに伸ばすようにする。
- ③個々の生徒が活動しやすいように自ら環境を整えたり、必要に応じて周囲の人に支援を求めたりすることができる内容を計画的に設定する。
- ④個々の生徒に対し、思考・判断・表現する力を高めることができるよう、自己選択・自己決定する機会を設ける。
- ⑤個々の生徒が、自立活動における学習の意味を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力との関係において理解し、取り組めるようにする。
- ⑥学校と家庭・施設との一貫した指導が行えるよう、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」等を活用するとともに、必要に応じて主治医・その他の関係医療・療育機関等と連携する。

## 7 交流及び共同学習指導計画

### (1) 学校間交流

#### ①目的

地域の中学校との交流活動を通して、他者を認め、励まし合う関係を築く。

#### ②年間指導計画

学年	人数	実施する月 (予定)	1回 当たりの 実施時間	指導の 形態名	具体的な内容	交流相手校名	学年等	引率 教員数
1年	単一障がい学級 9名 重複障がい学級 1名	7	3	総合的な 学習 の時間	ゲームや製作活動、 体育的活動等 に取り組む。	由布市立 庄内中学校	1	4
2年	単一障がい学級 4名 重複障がい学級 0名						2	2
3年	単一障がい学級 7名 重複障がい学級 1名						3	3
1年	単一障がい学級 9名 重複障がい学級 1名	1 2	3				1	4
2年	単一障がい学級 4名 重複障がい学級 0名						2	2
3年	単一障がい学級 7名 重複障がい学級 1名						3	3

### (2) 居住地校交流

#### ①目的

居住地の生徒と交流活動を通して、本校生徒の経験を広げ、積極的な態度を養い、社会性豊かな人間性を育む。

#### ②年間指導計画

学年	人数	実施する月 (予定)	1回 当たりの 実施時間	指導の 形態名	具体的な内容	交流相手校名	学年等	引率 教員数
1年	単一障がい学級 (未定) 重複障がい学級 (未定)	1 0	1 ~ 2	総合的な 学習 の時間	本校生徒が居住地 の中学校を訪れ て、表現やレクリ エーション等の活 動、一部の教科等 の学習に参加し、 共に学ぶ。	由布市立 挟間中学校  由布市立 庄内中学校  由布市立 湯布院中学校	1	1
2年	単一障がい学級 2名 重複障がい学級 0名						2	1
3年	単一障がい学級 3名 重複障がい学級 0名						3	1

## 8 産業現場等における実習指導計画

学 年	指導の 形態名	履 修 期 間	内 容	実 習 期 日	実 習 時間数	実習場所 又は事業所	実 習 生徒数	引 率 教員数	備 考
2 3	職業・家庭 (体験実習)	2 日	軽作業 商品整理 作業補助 資材準備	9月7日 ～ 9月30日 の期間中 に設定	12	地域の企業  福祉事業所	12	5	・実習場所や 期間につい ては、生徒 の希望や実 態に即して 決定する。

#### IV 高等部教育課程

##### 1 高等部教育目標

- 心の安定を図りながら、社会生活に必要な体力を養うため、積極的に身体を動かすことができる生徒を育てる。
- 卒業後の生活を見据えて、必要な生活習慣を確立し、健康・安全・衛生を意識して活動することができる生徒を育てる。
- 各教科等の学習を通して社会生活に必要な資質・能力を育成するとともに、それをもとに自分で考え、判断し、行動することができる生徒を育てる。
- 集団の中で、自己理解をもとに責任をもって自分の役割を果たすことができる生徒を育てる。
- 卒業後の社会生活、職業生活に必要な知識と技能及び態度を身につけ、主体的に働くことができる生徒を育てる。

##### 2 指導の形態別授業時数

###### (1) 職業生活科

指導の形態		1年	2年	3年
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	—	—	—
	生活単元学習	—	—	—
	作業学習	—	—	—
国語	70	70	70	
社会	35	35	35	
数学	70	70	70	
理科	18	18	18	
音楽	70	70	70	
美術	70	70	70	
保健体育	112	112	112	
職業	322 ┆ 287	322 ┆ 287	322 ┆ 287	
家庭	70	70	70	
特別の教科 道徳	17	17	17	
特別活動	35	35	35	
自立活動	91 ┆ 126	91 ┆ 126	91 ┆ 126	
総合的な探究の時間	70	70	70	
総授業時数	1050	1050	1050	

###### 【備考】

- ◎ 授業の1単位時間は50分である。
- ◎ 職業、及び自立活動については、生徒の実態に応じて〔職業332単位時間、自立活動91単位時間〕または、〔職業287単位時間、または126単位時間〕のいずれかを選択して履修するものとする。

## (2) 生活教養科

指導の形態		1年		2年		3年	
		A	B	A	B	A	B
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	—	—	—	—	—	—
	生活単元学習	—	—	—	—	—	—
	作業学習	—	—	—	—	—	—
	国語	70	17.5	70	17.5	70	17.5
	社会	35	35	35	35	35	35
	数学	70	17.5	70	17.5	70	17.5
	理科	18	18	18	18	18	18
	音楽	70	70	70	70	70	70
	美術	70	70	70	70	70	70
	保健体育	112	—	112	—	112	—
	職業	322	287	322	287	322	287
	家庭	70	—	70	—	70	—
	特別の教科 道徳	17	17	17	17	17	17
特別活動	ホームルーム活動	35	35	35	35	35	35
	自立活動	91	126	91	126	91	126
	総合的な探究の時間	70	70	70	70	70	70
総授業時数		1050	1050	1050	1050	1050	1050

## 【備考】

◎ 授業の1単位時間は50分である。

◎ 生活教養科A課程における「職業」、及び「自立活動」については、生徒の実態に応じて〔職業322単位時間、自立活動91単位時間〕または、〔職業287単位時間、126単位時間〕のいずれかを選択して履修するものとする。

## (3) 訪問学級

指導の形態		1年	2年	3年
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	—	—	—
	生活単元学習	—	—	—
	作業学習	—	—	—
	国語	12.5	12.5	12.5
	社会	—	—	—
	数学	12.5	12.5	12.5
	理科	—	—	—
	音楽	17.5	17.5	17.5
	美術	17.5	17.5	17.5
	保健体育	—	—	—
	職業	—	—	—
	家庭	—	—	—
	特別の教科 道徳	5	5	5
特別活動	ホームルーム活動	5	5	5
	自立活動	35	35	35
	総合的な探究の時間	35	35	35
総授業時数		140	140	140

◎基本授業回数・時間は週2回で、1日2単位時間（100分）とする。

### 3 道徳科指導計画

	1 年			2 年			3 年		
	教材名	内容項目	配当時間	教材名	内容項目	配当時間	教材名	内容項目	配当時間
4・5月	道徳の時間にどんなことを学んだり考えたりするかわ知ろう	オリエンテーション	1	道徳の時間にどんなことを学んできたかを振り返り、今年度どんなことを学んだり考えたりするかわ知ろう	オリエンテーション	1	道徳の時間にどんなことを学んできたかを振り返り、今年度どんなことを学んだり考えたりするかわ知ろう	オリエンテーション	1
	決まりについて考えよう（人権学習①）	C 遵法精神、公德心	1	違いを認めよう（人権学習③）＊他者理解	B 相互理解、寛容	1	違いを認めよう（人権学習⑤）＊他者理解	B 相互理解、寛容	1
6月	いのちの学習①	B 友情信頼 D 生命の尊さ	2	いのちの学習④	B 友情信頼 D 生命の尊さ	2	いのちの学習⑦	B 友情信頼 D 生命の尊さ	2
7月	平和について考えよう①	C 国際理解、国際貢献	2	平和について考えよう②	C 国際理解、国際貢献	2	平和について考えよう③	C 国際理解、国際貢献	2
8・9月	気持ちを伝えよう（人権学習②）＊自己権利擁護	B 相互理解、寛容	2	気持ちを伝えよう（人権学習④）＊自己権利擁護	B 相互理解、寛容	2	気持ちを伝えよう（人権学習⑥）＊自己権利擁護	B 相互理解、寛容	2
10・11月	いのちの学習②	B 友情信頼 D 生命の尊さ	2	いのちの学習⑤	B 友情信頼 D 生命の尊さ	2	いのちの学習⑧	B 友情信頼 D 生命の尊さ	2
12月	日本の伝統文化を体験しよう	C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	4	日本の伝統文化を体験しよう	C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	4	日本の伝統文化を体験しよう	C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	4
1・2月	いのちの学習③	B 友情信頼 D 生命の尊さ	2	いのちの学習⑥	B 友情信頼 D 生命の尊さ	2	いのちの学習⑨	B 友情信頼 D 生命の尊さ	2
2・3月	道徳の時間で学んだことをふりかえろう	学習のまとめ	1	道徳の時間で学んだことをふりかえろう	学習のまとめ	1	道徳の時間で学んだことをふりかえろう	学習のまとめ	1
	時間合計		17	時間合計		17	時間合計		17

#### 4 特別活動の指導計画

##### (1) ホームルーム活動指導計画

###### ① ホームルーム活動の目標

- ア 生徒相互及び生徒と教師の好ましい人間関係を育成する。
- イ 個性の発見と伸長をはかり、自己に自信を持つ。
- ウ 積極的に集団活動への参加を促し、社会性を養う。
- エ 規則正しい生活の習慣化を図る。

###### ② 学年別目標

1 年	2 年	3 年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等部の生活に適応する</li> <li>・集団活動に参加する</li> <li>・規則正しい生活習慣を確立する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に集団活動に参加する</li> <li>・個性の伸長をはかる</li> <li>・協調性・社会性を育成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最高学年としての自覚をもって行動する</li> <li>・社会人になる準備をする</li> <li>・卒業後の目標設定と進路決定をする</li> </ul>

###### ③ ホームルーム活動の年間指導計画及び配当時間

	1 年	時間	活動 内容 記号	2 年	時間	活動 内容 記号	3 年	時間	活動 内容 記号
4月	新年度の準備をしよう	2	(1)ア (1)イ	新年度の準備をしよう	2	(1)ア (1)イ (3)エ	新年度の準備をしよう。	2	(1)ア (1)イ (3)エ
	対面式をしよう	1	(1)ウ	対面式をしよう	1	(1)ウ	対面式をしよう。	1	(1)ウ
5月	ボランティア清掃活動をしよう	2	(3)イ	ボランティア清掃活動をしよう	2	(3)イ	ボランティア清掃活動をしよう	2	(3)イ
	運動会を成功させよう	4	(1)ウ (2)ア	運動会を成功させよう	4	(1)ウ (2)ア	運動会を成功させよう。	4	(1)ウ (2)ア
6月	防災について学ぼう	1	(2)オ (3)イ	防災について学ぼう	1	(2)オ (3)イ	防災について学ぼう	1	(2)オ (3)イ
7月	国際理解を深めよう	2	(2)ウ	国際理解を深めよう	2	(2)ウ	国際理解を深めよう	2	(2)ウ
	一学期の振り返りと夏休みの生活について考えよう	1	(2)ア (2)エ (3)ウ	一学期の振り返りと夏休みの生活について考えよう	1	(2)ア (2)エ (3)ウ	一学期の振り返りと夏休みの生活について考えよう	1	(2)ア (2)エ (3)ウ
8・9月	2学期の準備をしよう	1	(1)ア (1)イ (3)エ	2学期の準備をしよう。	1	(1)ア (1)イ (3)エ	2学期の準備をしよう。	1	(1)ア (1)イ (3)エ
10月	ボランティア清掃活動をしよう	2	(3)イ	ボランティア清掃活動をしよう	2	(3)イ	ボランティア清掃活動をしよう	2	(3)イ
	長宝祭を成功させよう	4	(1)ウ (2)ア	長宝祭を成功させよう	4	(1)ウ (2)ア	長宝祭を成功させよう	4	(1)ウ (2)ア
11月	児童生徒会の代表を選ぼう	2	(1)ウ (2)ア (3)ウ	児童生徒会の代表を選ぼう	2	(1)ウ (2)ア (3)ウ	児童生徒会の代表を選ぼう	2	(1)ウ (2)ア (3)ウ
12月	国際理解を深めよう	1	(2)ウ	国際理解を深めよう	1	(2)ウ	国際理解を深めよう	1	(2)ウ
	防災について学ぼう	1	(2)オ (3)イ	防災について学ぼう	1	(2)オ (3)イ	防災について学ぼう	1	(2)オ (3)イ
	二学期の振り返りと冬休みの生活について考えよう	1	(2)ア (3)ウ (3)エ	二学期の振り返りと冬休みの生活について考えよう	1	(2)ア (3)ウ (3)エ	二学期の振り返りと冬休みの生活について考えよう	1	(2)ア (3)ウ (3)エ
1月	3学期の準備をしよう	1	(1)ア (1)イ	3学期の準備をしよう。	1	(1)ア (1)イ	3学期の準備をしよう。	1	(1)ア (1)イ
	国際理解を深めよう	1	(2)ウ	国際理解を深めよう	1	(2)ウ	国際理解を深めよう	1	(2)ウ
2.3月	防災について学ぼう	1	(2)オ (3)イ	防災について学ぼう	1	(2)オ (3)イ	防災について学ぼう	1	(2)オ (3)イ
	お楽しみ会をしよう	2	(1)イ (2)ア (2)イ	お楽しみ会をしよう	2	(1)イ (2)ア (2)イ	お楽しみ会をしよう	2	(1)イ (2)ア (2)イ
	3年生を送り出そう	4	(1)ウ (2)ア	3年生を送り出そう	4	(1)ウ (2)ア	高等部3年間で締めくくろう	5	(1)ウ (2)ア (3)ア
3月	1年間の振り返りと春休みの生活について考えよう	1	(2)ア (3)ウ (3)エ	1年間の振り返りと春休みの生活について考えよう	1	(2)ア (3)ウ (3)エ			
合計		35			35			35	

(2) 生徒会活動指導計画

月	活 動 内 容	配当 時間
4 月	児童生徒会委員会活動 (1) 全校集会 (1) 歓迎行事 (学校行事)	2
5 月	児童生徒会委員会活動 (2) 運動会 (学校行事)	2
6 月	全校集会 (1)	1
7 月	児童生徒会委員会活動 (1)	1
8 月		0
9 月	児童生徒会委員会活動 (1) 全校集会 (1)	2
10 月	児童生徒会委員会活動 (1) 長宝祭 (学校行事)	1
11 月		0
12 月	児童生徒会委員会活動 (1) 全校集会 (1) 児童生徒会役員改選 (ホームルーム活動)	2
1 月	児童生徒会委員会活動 (1) 全校集会 (1)	2
2 月	児童生徒会委員会活動 (1) 全校集会 (1)	2
3 月		0
時間合計		15

※本校での小学部児童会及び中学部・高等部生徒会の組織は、三学部統合して「由布支援学校児童生徒会」とする。

(3) 学校行事の指導計画

月	儀式的行事	文化的行事	保健安全・体育的行事		旅行・集団 宿泊の行事	勤労生産 ・奉仕的行事	時数合計				
							1年	2年	3年		
4月	始業式 (2・3年)	1	身体測定 視力測定 聴力測定 耳鼻科咽喉 検診	1	歓迎行事	4		6	7	7	
	入学式	1									
5月			外科検診 内科検診 胸部X線検査 (1年)	1	運動会	3		5	4	4	
					避難訓練	1					
6月			精神科検診 歯科検診 心臓検診 (1年)	1	交通安全教室	2	宿泊学習 (1年)	12	15	2	2
7月	終業式	1	身体測定					1	1	1	
8・9月	始業式	1	身体測定					1	1	1	
10月		長宝祭2026	3					3	3	3	
11月							修学旅行 (2年)	18	0	18	0
12月	終業式	1						1	1	1	
1月	始業式	1	身体測定		避難訓練	2		3	3	3	
2月								0	0	0	
3月	卒業式	1						2	2	1	
	終業式 (1・2年)	1									
時数の計	1年	7	3	11	16	0	37				
	2年	8	3	9	22	0	42				
	3年	7	3	9	4	0	23				

## 5 総合的な探究の時間指導計画

(1) 総合的な探究の時間の名称 「総合的な探究の時間」

(2) 総合的な探究の時間の目標

生活体験・社会体験・職業体験等の体験学習として、教科等横断的・総合的な学習活動を行うことを通じて、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ・ 探究的な学習の過程において日常生活、社会生活、職業生活に関する課題の解決に必要な知識・技能を身に付け、課題に関する概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- ・ 日常生活、社会生活、職業生活と自己との関りから問いを見いだし、自ら情報を集め、整理・分析して、まとめ表現することができるようにする。
- ・ 探究的な学習に、主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画するとともに、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

(3) 実施学年

実施学年及び生徒数			授業時数	指導を行う方法		
1年	2年	3年	全学年	学習集団	学校外の施設等利用	指導者人数
9	8	4	70	学年、又は学部合同	商業施設、事業所、公共交通機関等	13名

(4) 学習計画

【1年】

実施時期	学習事項	配当時数	学習内容
4月	高等部での学習を始めよう	2	高等部3年間の学びに関する見通しを持つ。卒業後の生活について考える。キャリアノートの活用方法について知る。
5月	自分が面白いと思っていることについて深く調べて発表しよう	4	探究的な学びの契機とすることを目的に、興味関心のあることを多面的、多角的に調べて発表する。
5・6月	自分の進路について考えよう	10	校内実習を契機としながら自分の進路や卒業後の生活について考える。(職場見学、現場実習激励会、報告会の参加を含む)
6月	宿泊学習に行こう	12	自然体験、公共施設利用、及び集団行動にかかる課題の発見。卒業生の働く職場見学を通しての気づきや課題を整理する。
7月	1学期の学習を振り返ろう	2	1学期の学習活動の振り返りを行い、今後に向けた課題の整理と解決方法について考える。
10月	現場実習で気付いたことをまとめよう	8	現場実習の事前・事後学習を通じての自己の振り返りと課題の発見。事業所の施設・設備や配慮・支援、職業生活に関する気づきをまとめる。
10月	長宝祭を成功させよう	8	これまでの学習をふりかえりながらまとめ、学習成果として報告・発表することにつなげる。
12月	校外学習に行こう (事前・事後学習含む)	10	見学・体験する施設等の役割について調べたり、実際の体験を振り返ったりする活動を通して自分や社会の課題に気づき、解決方法を考える。
12月	由布高校と交流しよう	4	大分県立由布高校との交流及び共同学習 (事前・事後学習を含む)
12月	2学期の学習を振り返ろう	2	2学期の学習活動の振り返りを行い、今後に向けた課題の整理と解決方法について考える。
1・2月	現場実習で気付いたことをまとめよう	6	現場実習の事前・事後学習を通じての自己の振り返りと課題の発見。事業所の施設・設備や配慮・支援、職業生活に関する気づきをまとめる。
3月	高等部1年での学習を振り返ろう	2	年間の学習活動の振り返りを行い、今後に向けた課題の整理と解決方法について考える。

【2 年】

実施時期	学習事項	配当時数	学習内容
4月	高等部2年生を始めよう	2	昨年の学習活動を振り返りつつ、高等部2年生としての学びに関する見通しを持つ 卒業後の生活について考える。
6月	現場実習で気付いたことをまとめよう	6	現場実習の事前・事後学習を通じての自己の振り返りと課題の発見。事業所の施設・設備や配慮・支援、職業生活に関する気付きをまとめる。
7月	1学期の学習を振り返ろう	2	1学期の学習活動の振り返りを行い、今後に向けた課題の整理と解決方法について考える。
9月	校外学習に行こう（事前・事後学習含む）	12	見学・体験する施設等の役割について調べたり、実際の体験を振り返ったりする活動を通して自分や社会の課題に気づき、解決方法等を考える。
10月	自分の進路について考えよう	4	自分の進路や卒業後の生活について考える。（現場実習激励会、報告会の参加を含む）
10月	長宝祭を成功させよう	8	これまでの学習をふりかえりながらまとめ、学習成果として報告・発表することにつなげる。
11月	修学旅行に行こう	16	商業施設、公共交通機関の利用、及び集団行動に際しての課題の発見とその解決方法について考える。
12月	由布高校と交流しよう	4	大分県立由布高校との交流及び共同学習（事前・事後学習を含む）
12月	2学期の学習を振り返ろう	2	2学期の学習活動の振り返りを行い、今後に向けた課題の整理と解決方法について考える。
2月	現場実習で気付いたことをまとめよう	6	現場実習の事前・事後学習を通じての自己の振り返りと課題の発見。事業所の施設・設備や配慮・支援、職業生活に関する気付きをまとめる。
2月	自分の進路について考えよう	6	自分の進路や卒業後の生活について考える。（高3現場実習の希望先調査含む）
3月	高等部2年での学習を振り返ろう	2	年間の学習活動の振り返りを行い、今後に向けた課題の整理と解決方法について考える。

【3 年】

実施時期	学習事項	配当時数	学習内容
4月	高等部3年生を始めよう	2	昨年の学習活動を振り返りつつ、高等部3年生としての学びに関する見通しを持つ 卒業後の生活について考える。
6月	現場実習で気付いたことをまとめよう	8	現場実習の事前・事後学習を通じての自己の振り返りと課題の発見。事業所の施設・設備や配慮・支援、職業生活に関する気付きをまとめる。
7月	校外学習に行こう（事前・事後学習含む）	10	見学・体験する施設等の役割について調べたり、実際の体験を振り返ったりする活動を通して自分や社会の課題に気づき、解決方法等を考える。
7月	1学期の学習を振り返ろう	2	1学期の学習活動の振り返りを行い、今後に向けた課題の整理と解決方法について考える。
10月	現場実習で気付いたことをまとめよう	8	現場実習の事前・事後学習を通じての自己の振り返りと課題の発見。事業所の施設・設備や配慮・支援、職業生活に関する気付きをまとめる。
10月	長宝祭を成功させよう	8	これまでの学習をふりかえりながらまとめ、学習成果として報告・発表することにつなげる。
11月	校外学習に行こう（事前・事後学習含む）	12	見学・体験する施設等の役割について調べたり、実際の体験を振り返ったりする活動を通して自分や社会の課題に気づき、解決方法等を考える。
12月	由布高校と交流しよう	4	大分県立由布高校との交流及び共同学習（事前・事後学習を含む）
12月	2学期の学習を振り返ろう	2	2学期の学習活動の振り返りを行い、今後に向けた課題の整理と解決方法について考える。
2月	高等部3年間の学習を振り返ろう	14	高等部3年間を通しての学びを振り返るとともに卒業後の生活についてまとめて発表する。（進路報告会を含む）

## 6 自立活動指導計画

### (1) 目標

個々の生徒が自立を目指し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基礎を培う。

### (2) 指導方針

- ①すべての生徒に対して、「自立活動の時間における指導」及び「自立活動の指導（学校の教育活動全体を通して行う指導）」の中で行う。
- ②発達の段階や特性に配慮して学習課題を設定し、自立をめざした活動を通して、社会生活に積極的に参加できる能力・態度を養う。

### (3) 指導計画

#### ①指導内容

- ・学習指導要領に示された六つの区分27項目の内容の中から、個々の生徒に必要なとされる項目を選定し、それらを相互に関連付け、具体的な指導内容を設定する。

#### ②授業の形態

- ・個別指導
- ・学年別指導
- ・課題（グループ別）指導

#### ③授業時数（時間における指導）

類 型		1 年	2 年	3 年
職業生活科		91、または126	91、または126	91、または126
生活教養科	A	91、または126	91、または126	91、または126
	B	700	700	700
訪問教育		35	35	35

### (4) 指導上の配慮事項

- ①生徒が興味をもって主体的に取り組み、成就感を味わうとともに自己を肯定的に捉えることができる内容を選択する。
- ②生徒が障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲を高めたり、発達の遅れている側面を補ったりするために、発達の進んでいる側面をさらに伸ばすようにする。
- ③個々の生徒が活動しやすいように自ら環境を整えたり、必要に応じて周囲の人に支援を求めたりすることができる内容を計画的に設定する。
- ④個々の生徒に対し、思考・判断・表現する力を高めることができるよう、自己選択・自己決定する機会を設ける。
- ⑤個々の生徒が、自立活動における学習の意味を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力との関係において理解し、取り組めるようにする。
- ⑥学校と家庭・施設との一貫した指導が行えるよう、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等を活用するとともに、必要に応じて主治医・その他の関係医療・療育機関等と連携する。

## 7 交流及び共同学習指導計画

### (1) 学校間交流

#### ①目的

- ・互いを理解し合い、コミュニケーション力の向上を図るとともに、社会の一員としての自覚を深める。
- ・様々な活動をともにすることを通して、生活経験の広がり豊かな社会性・好ましい人間関係を築く。

#### ②年間指導計画

学年	人数	実施する月 (予定)	1回 当たりの 実施時間	指導の 形態名	具体的な内容	交流相手 校名	学年等	引率 教員数
全	職業生活科 16名 生活教養科 5名	12月	4	総合的な 探究の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いに自己紹介をする。</li> <li>・学校紹介を行う。</li> <li>・協働して体験的な学習活動に取り組む。</li> </ul>	由布高等学校	1～3年 希望者	-

※ 実施場所は本校のため、引率教員はなし

8 産業現場等における実習指導計画

学科名	学年	教科等名	履修時間(週)	内 容	実習期日	実習時間数	実習場所又は事業所	実習生徒数	引率教員数	備 考
職業生活科	1	職業	3週	・仕分け作業 ・ラベル貼り作業 ・箱折 ・干しいたけの パック詰め作業	【前期】 6月8日 ～6月12日 【後期】 10月5日 ～10月9日 1月25日 ～1月29日	90	〔校内実習〕 ・由布支援学校  〔一般企業〕 ・(株)西石油 お宿有楽 ・(福)寿永会 慶寿苑 ・(株)ワタキューセイモア ・(株)ゆうび	7	3	【前期】は、校 内で実習を実施する
	2		4週	・漬物作業 ・農作業 ・バリ取り作業 ・部品製造作業 ・ニラ調整作業 ・旗作業	【前期】 6月8日 ～6月19日 【後期】 1月18日 ～1月29日	120	〔就労継続支援A型事業所〕 ・(NPO)リプル 由布の麓 ・(福)庄内厚生館 希望の家	6	2	
	3		4週	・パン製造 ・環境整備 ・洗浄作業 ・メンテナンス作業 ・接客作業	【前期】 6月8日 ～6月19日 【後期】 9月28日 ～10月9日	120	〔就労移行支援事業所〕 ・(福)博愛会 博愛大学校どり 一む  〔就労継続支援B型事業所〕 ・(合)ぼちぼち ノーサイド ・(株)システムコンサルタント 3GIFT	3	2	進路先決定や 定着指導のため に必要な校外 での実習を 左記実習期間 以外にも適宜 実施する
生活教養科	1	A課程 … 職業	3週	・支援員補助業務 ・ごみの分別作業 ・創作活動 ・施設体験	【前期】 6月8日 ～6月12日 【後期】 10月5日 ～10月9日 1月25日 ～1月29日	90	・(福)豊肥福祉会 明日の輪 ・(福)シンフォニー コンチェ ルト ・(福)太陽の家	2	1	【前期】は、校 内で実習を実施する
	2	／ B課程 … 自立活動	4週	他	【前期】 6月8日 ～6月19日 【後期】 1月18日 ～1月29日	120	〔生活介護〕 ・(福)庄内厚生館 木埋学園 ・(福)博愛会 第二博愛寮 ・(福)新友会 ひまわりの家 ・(一社)あした天気になあれ ・(株)システムコンサルタント 3GIFT	2	2	
	3		4週		【前期】 6月8日 ～6月19日 【後期】 9月28日 ～10月9日	120	他	1	1	進路先決定や 定着指導のため に必要な校外 での実習を 左記実習期間 以外にも適宜 実施する

令和 8 年度

# V 道徳教育の全体計画

大分県立由布支援学校

**V 道徳教育の全体計画**

関係法令及び時代や社会の要請、課題	学校教育目標	児童生徒の実態や発達の段階
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法</li> <li>・教育基本法</li> <li>・学校教育法</li> <li>・学習指導要領</li> <li>・県・市の教育委員会指導方針</li> <li>・県・市の障がい者施策</li> </ul>	人権尊重の精神を踏まえ、一人一人の特性や教育的ニーズに応じた教育活動を行い、生きる力の基礎基本を養うとともに、主体的に自立と社会参加を目指し、夢と希望を持って心豊かに生きていく児童生徒の育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活の場で応用されにくいことや成功体験が少ないことなどにより、主体的に活動に取り組む意欲が十分に育っていない。</li> <li>・実際的な生活経験が不足しがちであることから、実際の・具体的な内容の指導が必要であり、抽象的な内容の指導よりも効果的である。</li> <li>・知的障がいに他の障がいを併せ有する児童生徒に対しては、より一層のきめ細かな配慮が必要である。</li> </ul>

学校や地域の実態と課題、教職員や保護者の願い	道徳教育の学部重点目標	道徳教育の推進体制						
○教師の願い（本校の児童生徒像） <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく元気にあいさつをする児童生徒</li> <li>・目標に向かって取り組む児童生徒</li> <li>・決まりを守ってみんなと仲良く生活する児童生徒</li> </ul> ○保護者の願い <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きること喜びを感じ、日々元気に生活する子ども</li> <li>・感謝と思いやりの心を持ち、学校家庭、地域の人々と交わる子ども</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%;">小学部</td> <td>                             みんなで仲よく遊んだり、善悪を判断したり、協力したりできる児童を育てる。                              【友情 信頼】 【よりよい学校生活の充実】 【生命の尊さ】                         </td> </tr> <tr> <td>中学部</td> <td>                             自ら進んでものごとに取り組み、善悪を判断したり、友だちと仲よくしたり、協力したりできる生徒を育てる。                              【自主 自律 自由と責任】 【相互理解 寛容】                              【公平 公正 社会正義】                         </td> </tr> <tr> <td>高等部</td> <td>                             ものごとの正しい判断ができ、相互理解するとともに協力する生徒を育て、充実した活動の実現を目指す。また、集団の決まりや規律を尊重できる生徒を育てる。                              【友情 信頼】 【生命の尊さ】 【相互理解 寛容】                         </td> </tr> </table>	小学部	みんなで仲よく遊んだり、善悪を判断したり、協力したりできる児童を育てる。 【友情 信頼】 【よりよい学校生活の充実】 【生命の尊さ】	中学部	自ら進んでものごとに取り組み、善悪を判断したり、友だちと仲よくしたり、協力したりできる生徒を育てる。 【自主 自律 自由と責任】 【相互理解 寛容】 【公平 公正 社会正義】	高等部	ものごとの正しい判断ができ、相互理解するとともに協力する生徒を育て、充実した活動の実現を目指す。また、集団の決まりや規律を尊重できる生徒を育てる。 【友情 信頼】 【生命の尊さ】 【相互理解 寛容】	大分県長期教育計画の「豊かな心の育成」に示す「子どもたちが、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として、他者と共により良く生きる力を身に付けている。」「子どもたちが、読書活動や自然体験、科学体験等の体験活動を通じて、社会性や人間関係を育む力、自己肯定感等を身に付けている（主観的ウェルビーイング）」を基盤に置く。  ○研究部 ・人権教育 ・交流教育 ○生徒指導部 ○各学部の道徳教育推進教師
小学部	みんなで仲よく遊んだり、善悪を判断したり、協力したりできる児童を育てる。 【友情 信頼】 【よりよい学校生活の充実】 【生命の尊さ】							
中学部	自ら進んでものごとに取り組み、善悪を判断したり、友だちと仲よくしたり、協力したりできる生徒を育てる。 【自主 自律 自由と責任】 【相互理解 寛容】 【公平 公正 社会正義】							
高等部	ものごとの正しい判断ができ、相互理解するとともに協力する生徒を育て、充実した活動の実現を目指す。また、集団の決まりや規律を尊重できる生徒を育てる。 【友情 信頼】 【生命の尊さ】 【相互理解 寛容】							

■道徳科の時間における指導の方針や重点目標  
 ■各教科、総合的な学習（探究）の時間、特別活動等における道徳教育の指導方針

学 部	道徳科の時間における指導の方針や重点目標	各教科等における道徳教育の指導方針等
小学部	児童の実態に合わせ実際の・具体的な内容を指導し、主体的に取り組むための基盤となる道徳性を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつやきちんとした言葉遣いに気をつけ、周りの人と仲良く生活しようとする態度を育成する。</li> <li>・生活科や体育科などの時間を通して、ルールを守ったり、友だちと協力したりする態度を育成する。</li> <li>・音楽に関心を持ち、楽しさや美しさを感じる心を培い、豊かな感性を育成する。</li> <li>・図画工作などの造形活動を通して、表現や鑑賞の楽しさを知り豊かな情操を育成する。</li> <li>・生活科や体育科などの時間を通して、道具の準備や片づけを進めようとする態度を育成する。</li> <li>・地域の小学校との学校間交流や居住地校交流で、同年代の児童とのかかわりを通して、他者の思いや思いやりに気づき、自分にできることをしようとする態度を育成する。</li> <li>・自分の命だけでなく、友だちの命も大切にしようとする態度を育成する。</li> </ul>
中学部	生徒の実態に合わせ実際の・具体的な内容を指導し、主体的な判断の下に行動できる道徳性を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力を高めることにより、伝え合う力を育成する。</li> <li>・音楽に対する感性を高めることにより、美しい物などに感動する心を育成する。</li> <li>・美術などの創造活動を通して、豊かな情操を育成する。</li> <li>・教育活動における競い合いや協同の経験を通して、公正な態度や規則を守り協力して活動する態度を育成する。</li> <li>・地域の中学校との学校間交流を通して、他者を認め、励まし高め合う関係を築く。</li> <li>・総合的な学習の時間を通して、生命の尊重及び規範意識の向上及び自他の尊重と協働精神を育成する。</li> <li>・自他の尊重と協働精神・郷土や自然を愛する心を育成する。</li> </ul>
高等部	生徒の実態に合わせ、実際の・具体的な内容を指導し、将来の生活を見据え、広い視野に立って行動するための道徳的判断力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力を高めることにより、伝え合う力や相手を思いやる心を育成する。</li> <li>・音楽に対する感性を高めることにより、美しいものなどに感動したり共感したりする心を育成する。</li> <li>・美術などの創造活動を通して、豊かな情操を育成する。</li> <li>・教育活動における競い合いや協同の経験を通して、公正な態度や規則を守り協力して責任を果たす態度を育成する。</li> <li>・地域社会との交流活動を通して、他者を認め、励まし高め合う関係を築く。</li> <li>・総合的な探究の時間を通して、生命の尊重・規範意識の向上及び自他の尊重と協働精神を育成する。</li> <li>・郷土や自然を愛する心を育成する。</li> </ul>

■特色ある教育活動や豊かな体験活動における指導との関連

小学部	○教育活動全体を通じて、道徳的意識を高めるために様々な体験の場を確保し、充実する。 〈人、物、自然とのふれあいを中心とした活動〉 各教科 特別活動 自立活動
中学部	○教育活動全体を通じて、道徳的実践力を培うための様々な体験の場を確保し、充実する。 〈人、物、自然とのふれあいを中心とした活動〉 各教科 特別活動 自立活動 総合的な学習の時間
高等部	○教育活動全体を通じて、道徳的意識を高めるために様々な体験の場を確保し、充実する。 〈人、物、自然とのふれあいを中心とした活動〉 各教科 特別活動 自立活動 総合的な探究の時間

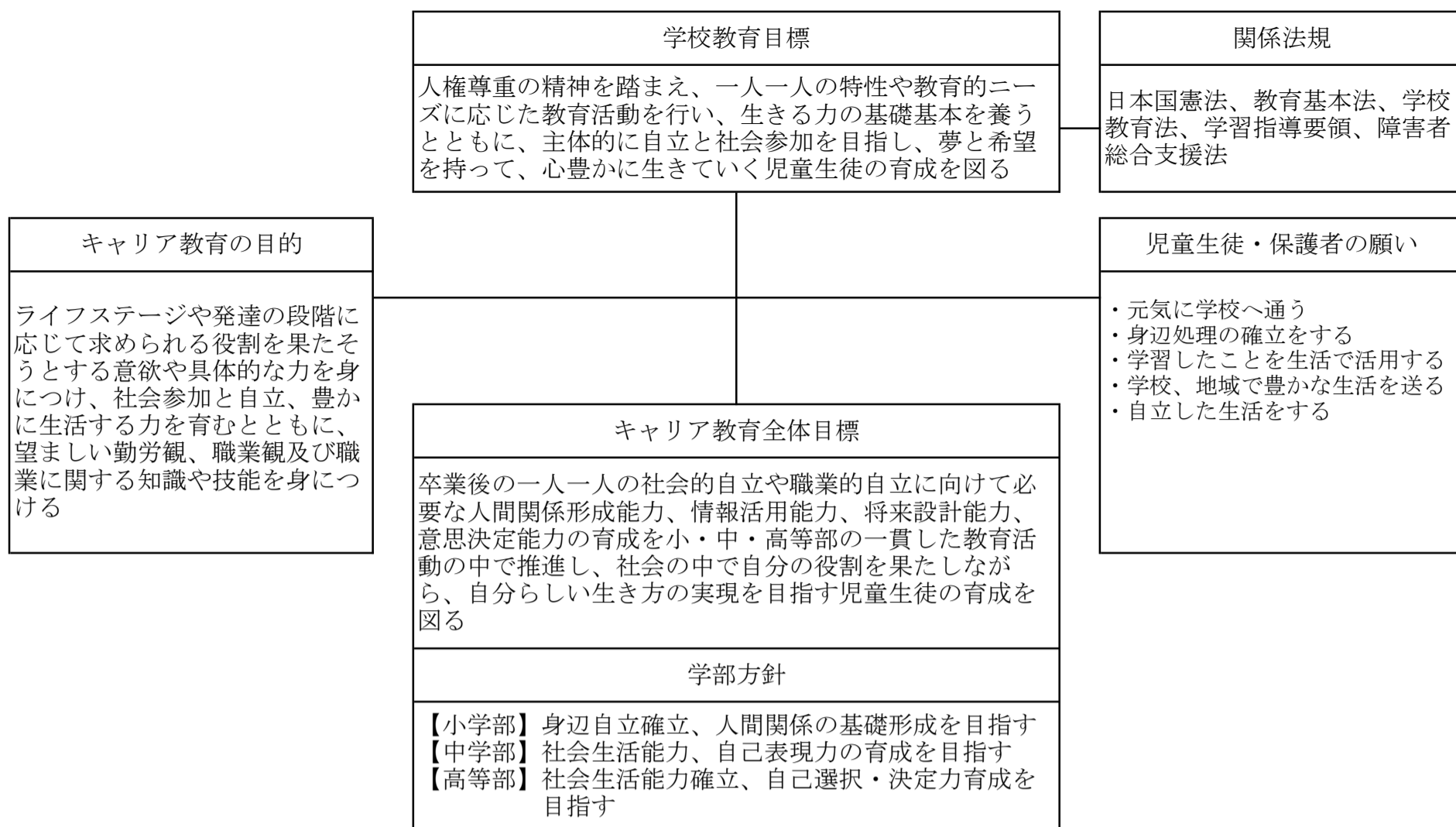
学校の環境の充実、生活全般における指導方針	家庭、地域社会、他校種との連携
○児童生徒の豊かな心を育成し、道徳的実践意欲を高めるための環境作りを行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と児童生徒、児童生徒相互の好ましい人間関係づくり</li> <li>・校内美化、掲示物の整備・豊かな学習環境の充実</li> </ul>	○学校、家庭、地域三者の相互理解を深め、交流を密にし、協力体制を整える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開 ・授業参観 ・保護者会 ・学校だより（かじか）</li> <li>・地域の小・中学校、高等学校、大学等との交流</li> </ul>

令和 8 年度

# Ⅵ キャリア教育の 全体計画

大分県立由布支援学校

VI キャリア教育の全体計画



【小学部】	各教科の指導	特別の教科 道徳	特別活動	(生活)*注1	自立活動
身辺自立の確立と人間関係の基盤形成の時期	日常生活に必要な基礎的な知識を身につけ、日常生活の中で意欲的に使おうとする力を育てる	自己を見つめ、他者との関わりや身近な集団の中での自分の特徴などを知り、伸ばしたい自己について深く見つめることができるための道徳的心情や態度を育てる	集団の一員としての自覚を養い、よりよい生活にしようとする主体的に関わる態度を養う	具体的な活動や体験を通して、生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を養う	困難を主体的に改善、克服する知識、技能等の基盤を養う
【中学部】	各教科の指導	特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	自立活動
社会生活能力と自己表現力の育成の時期	生活に必要な言語・数量などの基礎知識・技能を身につけ、それらをもとに自分で考え、行動できる力を養う	自己を見つめ、生き方について深く考え、道徳的価値を実現するための適切な行為を自分の意志や判断によって選択し、実行することができるための道徳的心情や態度を育てる	自己の役割を自覚し、よりよい生活を築こうとする実践的態度を養う	生活体験・社会体験・職業体験等の体験学習として、教科等横断的・総合的な学習活動を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を養う	困難を主体的に改善、克服する知識、技能等の基盤を養う
【高等部】	各教科の指導	特別の教科 道徳	特別活動	総合的な探究の時間	自立活動
社会生活能力の確立と自己選択・自己決定力育成の時期	社会参加と自立に必要な基礎的な知識の習得を図り、それらをもとに自分で考え、判断し、行動できる力を育てる	自分自身や自己と他者との関係や社会について関心を持ち、自己探求や自己実現に努めることができるための道徳的心情や態度を育てる	社会の一員として、自己の役割を果たすために必要な力や態度を養う	生活体験・社会体験・職業体験等の体験学習として、教科等横断的・総合的な学習活動を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を養う	困難を主体的に改善、克服する知識、技能、習慣を養う

キャリア教育推進を支えるもの					
専門性の向上	保護者との連携	地域との連携	関係機関との連携	校内の組織づくり	啓発活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学、施設体験、企業訪問</li> <li>・先進校視察 研究報告書分析</li> <li>・進路に関する研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭訪問</li> <li>・個別進路面談</li> <li>・PTA活動</li> <li>・同窓会</li> <li>・進路だよりの発行</li> <li>・「由布支援版キャリアノート」の活用*注2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議員会</li> <li>・老人会</li> <li>・由布市特別支援教育関係者による交流会</li> <li>・地域の事業所での作品展示、作業製品委託販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所</li> <li>・ハローワーク</li> <li>・医療機関</li> <li>・福祉機関</li> <li>・進路支援会議</li> <li>・児童相談所</li> <li>・大分県中小企業家同友会</li> <li>・大分障害者職業センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ケース会議</li> <li>・進路指導委員会</li> <li>・就学支援委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開</li> <li>・運動会</li> <li>・長宝祭</li> <li>・交流及び共同学習</li> <li>・ワーキングフェア</li> </ul>

\*注1… 小学部の「生活」については、「各教科の指導」に含まれるものであるが、「総合的な学習の時間」「総合的な探究の時間」の基礎であるとの位置づけから、この欄に系統立てて示している。

\*注2… 各教科等の指導においては、キャリア教育の要とされる「総合的な学習の時間」「総合的な探究の時間」「特別活動」、小学部の「生活」を軸とした体験的・探究的な児童生徒の学びと運動させながら記録・活用することとしている。

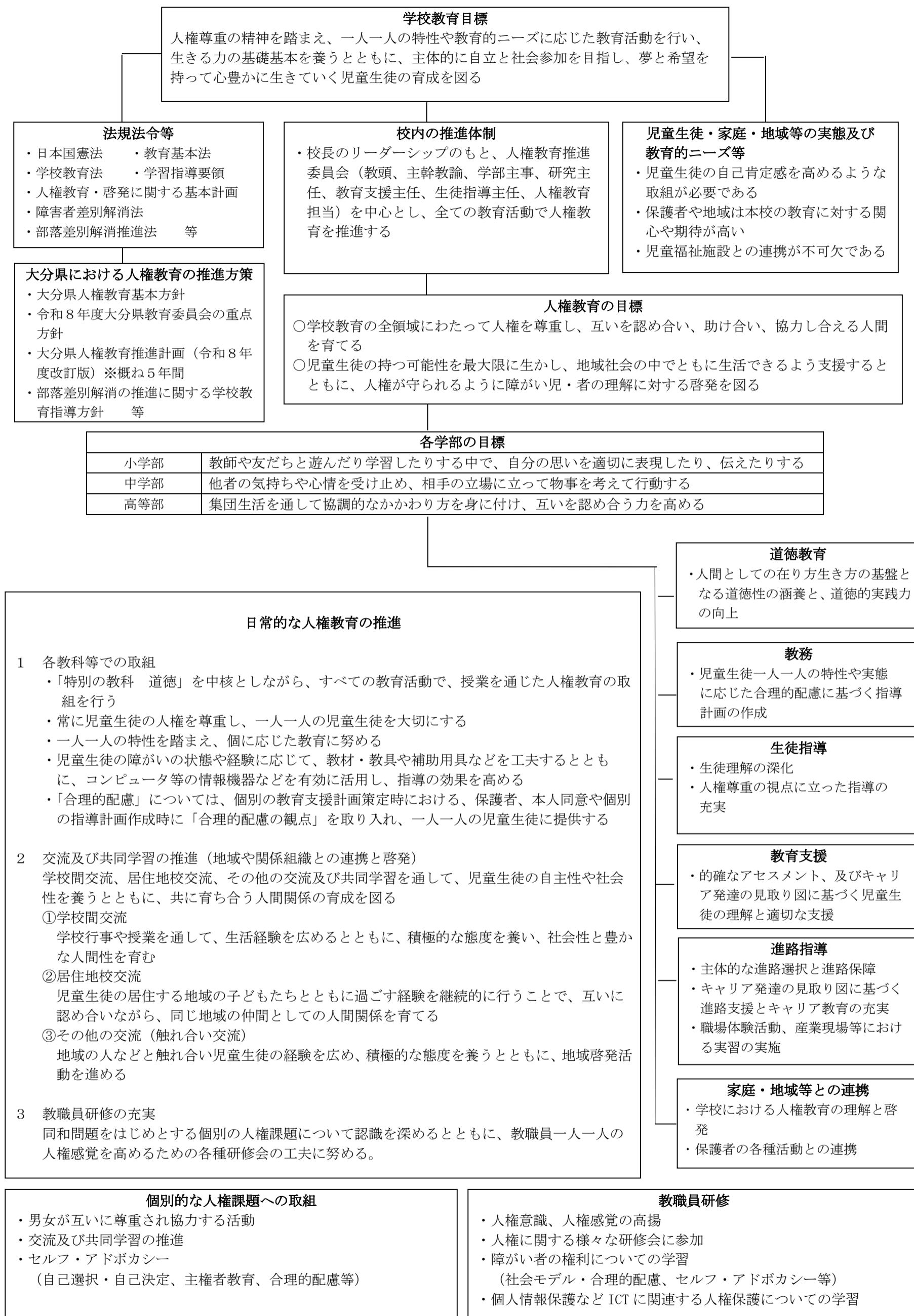
令和 8 年度

# VII 人権教育年間計画

大分県立由布支援学校

Ⅶ 人権教育年間計画

1 人権教育全体計画



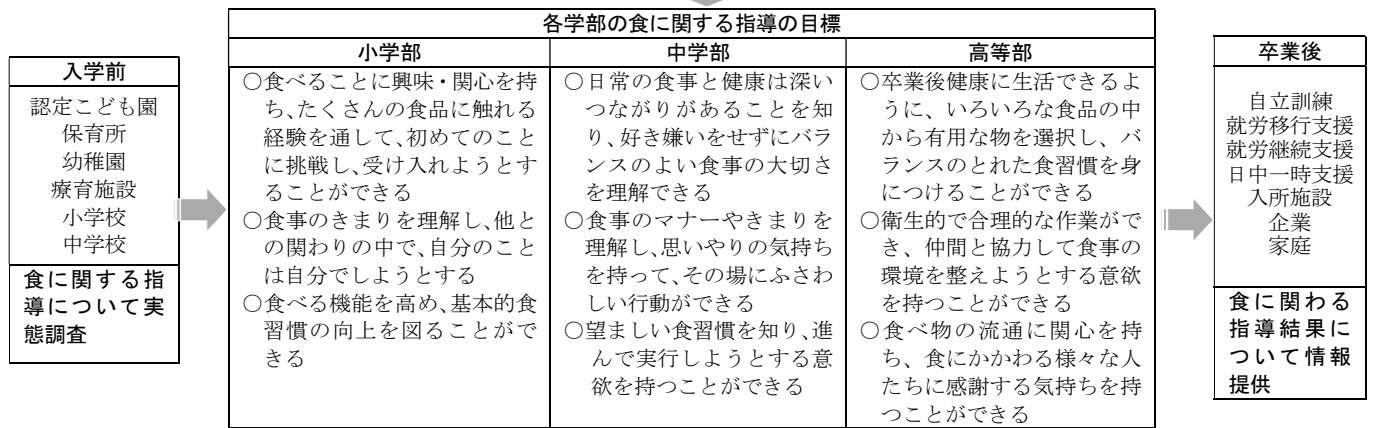
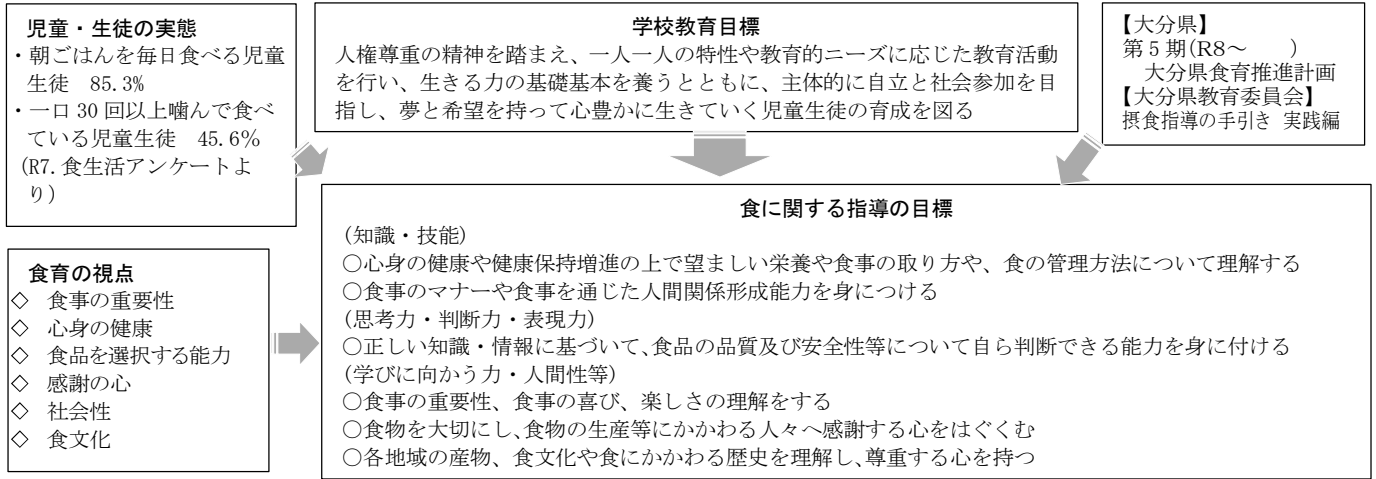
令和 8 年度

# Ⅷ 食に関する指導の 全体計画

大分県立由布支援学校

## Ⅷ 食に関する指導の全体計画

### 1 食に関する指導の全体計画 ①



**食育推進組織 (給食安全委員会)**  
 委員長:校長 委員:教頭、主幹教諭、学部主事、保健主任、養護教諭、栄養教諭 (○印 企画・運営・書類保管者)

食に関する指導				
発達段階	I 段階 (常時援助を必要とする)	II 段階 (自分で行うには補助や指示を必要とする)	III 段階 (場や状況に応じて自分で行動できる)	
食に関する指導 (給食) 生活科(小) 職業・家庭(中) 家庭科(高)	・給食のきまりを覚える ・スプーンで食べる ・見て、聞いて、触って、嗅いで、味わって ・食べ物の名前を知る ・いろいろな食べ物を食べる ・よく噛んで食べる ・仲良く食べる	・今日の献立の名前を知る ・はしを使って食べる ・好き嫌いを残さず食べる ・食べ物の仲間分けをしてみる ・食べ物の働きを知る ・食事を楽しむ	・栄養のバランスを考えて食べる ・正しいマナーを身につける ・美しい食卓作りをする ・感謝して食べる ・人とのふれあいを大切にしながらかし事を楽しむ ・バランスを考えて食品を選ぶ	
道徳	思いやりの心、進んで手伝う、家族の笑顔、働く喜び、季節を感じる、丈夫な体、心たくましく生きる自立、他人との関わり、集団や社会との関わりに関すること			
自立活動	健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーション			
特別活動	学校行事等	1 学期 各種検診・運動会・歓迎行事	2 学期 修学旅行・宿泊学習・長宝祭	3 学期 給食週間
	児童生徒会活動	全校集会・委員会活動		
		リクエスト給食、行事食、郷土食、世界の料理、地域の食材活用		
		給食のきまりのお知らせ 毎日の献立と栄養素の表示 手洗い・うがいの学習 配膳・片付けについて 食事のマナーについて		

地場産物の活用	・地域の旬の食材の活用 (学校給食一日まるごと大分県)
家庭、学園、地域との連携	・個別の教育支援計画、個別の指導計画 (食に関する指導) 連絡帳 ・給食だより、献立表、PTA 学校給食試食会、PTA 学校給食料理教室
食育推進の評価	・個別の指導計画(食に関する指導)での個別評価 ・PTA 活動時の保護者の意見、感想聴取

2 食に関する指導の全体計画②

		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事		始業式 入学式 身体測定・諸健診 歓迎行事	運動会 避難訓練	宿泊学習(高)	身体測定 終業式	身体測定 始業式	修学旅行(小) 長宝祭	秋の遠足(小) 修学旅行(中) 修学旅行(高)	校外学習(各学部) 終業式	身体測定 始業式		卒業式 修了式・終業式
推進 体制	進行管理	給食安全委員会			給食安全委員会				給食安全委員会		給食安全委員会	
	計画段階	計画策定				計画見直し					計画案策定	
教科 の 指 導 で 取 り 扱 う 内 容	小学部	【 小学部1段階 】 知的障害の程度は、比較的強く、他人との意思の疎通に困難があり、日常生活を営むのにほぼ常時援助が必要である者を対象とした内容				【 小学部2段階 】 他人との意思の疎通に困難があり、日常生活を営むのに頻りに援助を必要とする者を対象とした内容			【 小学部3段階 】 他人との意思の疎通や日常生活を営む際に困難が見られ、適宜援助を必要とする者を対象とした内容			
	生活	ア 基本的生活習慣 ・教師と一緒に食事の前に手洗いをする ・配膳の時に行儀よく待つ ・教師と一緒に自分の食器を並べたり、片づけたりする ・食前・食後の挨拶のしぐさをする ・スプーン、フォークなどを使って教師の援助を受けながら食べる ・ストローやコップで飲むとする ・食器を手に持ってたべようとする ・苦手食材も少量たべる ・噛む回数や一口の量を教師の援助を受けながら知る ・教師の援助で姿勢に気をつけようとする ・見て、聞いて、触って、嗅いで、味わって ・食べ物の名前を知る カ 役割 /キ 手伝い・仕事 ・給食の時に、教師と一緒にお盆や牛乳を配るなどの係り活動をする サ 生命・自然 ・植物を育て、成長や変化に気付く				ア 基本的生活習慣 ・一人で食事の前に手洗いをする ・食事の前にテーブルを拭く ・自分の食器を並べたり、片づけたりする ・食前・食後の挨拶をする ・スプーン、フォークやはしを使って食べる ・ストローやコップで飲む ・必要に応じて食器を手に持って食べる ・主食と副食をとり合わせて食べる ・噛む回数や一口の量を自ら考えながら食べる ・食品や簡単な献立の名前を言う ・姿勢に気をつけて食べる ・給食のきまりを覚える カ 役割 /キ 手伝い・仕事 ・給食運搬などの係り活動をする サ 生命・自然 ・生き物は食べ物を食べて成長することを知る			ア 基本的生活習慣 ・簡単な食事の準備(エプロン等身支度、手洗い、食器運搬、配膳等)を友達と一緒にする ・簡単な食事の片付け(食器の分類、運搬等)を、友達と一緒にする ・はしでこぼさず食べる ・健康な身体を作るために、好き嫌いをなく食べる ・マナーを守って一人で食事をする ・食べたい献立の名前を言う ・よい姿勢で食べる カ 役割 /キ 手伝い・仕事 ・給食運搬などの係り活動をする サ 生命・自然 ・植物を栽培し、発芽、開花、結実といった一連の成長の様子が分かる ・除草したり、肥料を施したりする			
	体育	G 保健 ・うがいをしたり、手洗いをしたりする				G 保健 ・身体測定の結果に関心をもつ ・身体の清潔(汗の始末、洗顔、入浴)について関心をもつ			G 保健 ・身体測定の結果や身体の変化などから、自分の身体の成長に関心をもつ ・進んで健康診断などを受ける ・いろいろな病気と予防について知る			
中学部	【 中学部1段階 】 生活年齢に応じながら、主として経験の積み重ねを重視するとともに、他人との意思の疎通や日常生活への適応に困難が大きい生徒にも配慮した内容						【 中学部2段階 】 生徒の日常生活や社会生活及び将来の職業生活の基礎を育てることをねらいとする内容					
社会	エ 産業と生活 ・生産者や消費者をつなぐスーパーや市場などの働きと人々の生活に関わりが分かる ・農業、漁業などと自分たちの生活とのつながりが分かる				カ 外国の様子 ・外国の料理や食事の習慣を知る		エ 産業と生活 ・名産品や物産品について知り、特色ある地域の様子について理解する			カ 外国の様子 ・外国の料理や食事の習慣など、日本と他の国との大きな違いについて理解する		
理科	A生命 ア 身の回りの生物 ・植物の育ち方には、種子から発芽し子葉が出て、葉がしげり、花が咲き、花が果実になった後に個体は枯死するという一定の順序があることを理解する						A 生命 ア 人の体のつくりと運動 ・人の体には骨と筋肉があることが分かる ・人の体を動かすことができるのは、骨と筋肉の働きによることを理解する			イ 季節と生物 ・植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する		
教科・総合的な学習の時間の指導で取り扱う内容	職業分野	A 職業生活 イ 職業 ・材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知る ・作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れる ・作業の持続性や巧緻性を身に付ける ・作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫する ・職業生活に必要な健康管理について気付く				A 職業生活 イ 職業 ・材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知る ・作業課題が分かり、使用する道具等の特性や扱い方を理解する ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付ける ・作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫する ・職業生活に必要な健康管理について気付く						
	家庭分野	B 衣食住の生活 ア 食事の役割 ・簡単な食品や料理の名前が分かる ・主食、主菜、副菜などについて知る ・食事は健康を保ち、身体の成長や活動のもとになることに気付く ・健康の維持に必要な栄養素や適切な食事量に気付く ・食事や気持ちや心の安定に大きな役割があることに気付く ・食事の時間を楽しみにする ・美味しいことを喜び、伝え合い共有する				イ 調理の基礎 ・食品の洗い方、切り方が分かり、簡単な調理をする ・食品の変質について知り、衛生的な保存の仕方が分かる ・冷蔵庫の使い方が分かる ・食品、食器などの衛生に気をつける		B 衣食住の生活 ア 食事の役割 ・写真や見本を見て、食事の注文をする ・マナーを守って楽しく食事をする イ 栄養を考えた食事 ・自分の食生活に関心をもち、健康によい食事のとり方に気付く ・栄養を考え、いろいろな食品を組み合わせてバランスよく食べる ・自分の食事の改善点や解決方法を考える ・食品に含まれる栄養素の特徴により、「主にエネルギーのもとになる」「主に体をつくるもとになる」、「主に体の調子を整えるもとになる」の三つのグループに分けることが分かる ・和食の基本である米飯とみそ汁の組み合わせや、旬の食材、地域の伝統的な料理、和食と洋食、他国の馴染みのある料理や食べ物など、より食への関心を広げ深める			ウ 調理の基礎 ・献立に合わせ、必要な材料を取りそろえる ・主な調味料の使い方が分かる ・調理用具などを安全に使う ・電気器具、ガス器具などの扱いに慣れる ・盛り付けや配膳をする ・食事の準備や後片付けをする ・調理室の簡単な整理・整頓をする	
保健体育	H 保健 ・栄養が偏らないように、バランスのとれた食事をし、食べすぎないようにして健康的な生活を送る ・身体の発育に関心をもつ ・身体各部位の働きを知る						H 保健 ・身体の発育・発達について理解する ・健康のために必要な運動や食事について理解し実践する					
総合的な学習の時間	よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を養うことを目的に、生活体験・社会体験・職業体験等の体験学習の中で、食生活に関連する活動を取扱い、関係する教科等を関連付けながら横断的・総合的な学習活動を行う											

		【 高等部1段階 】				【 高等部2段階 】							
高等部		生活年齢に応じながら、主として卒業後の家庭生活、社会生活及び職業生活などとの関連を考慮した、基礎的な内容				比較的障害の程度が軽度である生徒を対象として、卒業後の家庭生活、社会生活及び職業生活などとの関連を考慮した、発展的な内容							
教科・総合的な探究の時間の指導で取り扱う内容	社会	エ 産業と生活 ・生産者や消費者をつなぐスーパーや市場などの働きが食糧生産を支えていることを理解する ・農業や漁業などの食糧生産が自然条件を生かして行われていることを知る	カ 外国の様子 ・外国と日本の文化についてそれぞれの大切さについて考える	エ 産業と生活 ・地域の生産物の種類や分布、食糧生産の工程などについて理解する	カ 外国の様子 ・食糧難の課題について自分ができる取り組みを考える								
	理科	A 生命 ア 植物の発芽、成長、結実 ・植物の発芽には水・空気・温度が関係していることや、成長には日光や肥料などが関係していることを理解する ・花にはおしべやめしべがあることや、結実して種子ができることなどを理解する		A 生命 ア 人の体のつくりと働き ・体内には生きていくための生命活動を行なう様々な臓器があることを理解する ・様々な臓器の働きについて理解する	イ 植物の養分と水の巡り道 ・植物が成長するための仕組みについて理解する ウ 生物と環境 ・生物は食べる・食べられるという関係があることを理解する								
	職業	A 職業生活 イ 職業 ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解する ・使用する道具の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱う ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業する	・生産や生育活動等に関わる技術について考える ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図る ・職業生活に必要な健康管理について考える	A 職業生活 イ 職業 ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深める ・使用する道具の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて効果的に扱う ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟する	・生産や生育活動等に係る技術に込められた工夫について考える ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る ・職業生活に必要な健康管理の工夫について考える								
	家庭	B 衣食住の生活 ア 食事の役割 ・生活における食事の役割について考える ・健康によい食習慣について考える ・健康的に過ごすことができるように量やバランスを考えて食事を摂取する	イ 日常食の調理 ・用途に応じた食品を選択する ・食品や調理用具等を安全面・衛生面に気を付けて管理・使用する ・材料に適した加熱調理の方法を知り、基礎的な調理ができる	B 衣食住の生活 ア 必要な栄養素を満たす食事 ・自分に必要な栄養素の種類と働きを理解する ・食品の栄養的特質について理解する ・栄養バランスを工夫して一日分の献立について考える	イ 日常食の調理 ・用途に応じた食品を選択する ・食品や調理用具等を安全面・衛生面に気を付けて管理・使用する ・材料に適した加熱調理の方法を知り、基礎的な調理ができる ・基礎的な調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考える								
	保健体育	I 保健 ・心身の発育や発達、疾病予防等に必要な知識を理解する		I 保健 ・心身の発育や発達、疾病予防等に必要な知識の理解を深め、健康で安全な社会生活を営むための技能を身に付ける									
	総合的な探究の時間	自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を養うことを目的に、生活体験・社会体験・職業体験等の体験学習の中で、食生活に関連する活動を取り扱い、関係する教科等に関連付けながら横断的・総合的な学習を行う											
道徳科(全学部)		食育に関係の深い、(思いやりの心、進んで手伝う、家族の笑顔、働く喜び、季節を感じる、丈夫な体、他人との関わり、集団や社会との関わりに関すること)等の道徳的価値を含む内容を重点として、特別の教科「道徳」を中心に、教育活動全体で取り組む											
領域の指導で取り扱う内容	学級活動	小学部	教科・領域等の指導で取り扱うため取り扱わない										
		中学部	教科・領域等の指導で取り扱うため取り扱わない										
	ホームルーム活動	高等部	教科・領域等の指導で取り扱うため取り扱わない										
	児童生徒会活動	全校集会	保健委員会としての取り組み(給食のきまりについて知ろう 毎日の献立と栄養素のお知らせ 手洗いうがいの呼びかけ) 学校給食週間の取り組み										
	特別活動	給食の時間	給食指導	小学部	児童の発達段階や障がいの状況、並びに「自立活動」で個別に設定している目標・指導内容を踏まえ、「生活」のA「基本的生活習慣」、カ「役割」、キ「手伝い・仕事」、または「自立活動」として取り組む								
				中学部	生徒の発達段階や障がいの状況、並びに「自立活動」で個別に設定している目標・指導内容を踏まえ、「職業・家庭」の職業分野A職業生活イ「職業」、家庭分野B衣食住の生活「調理の基礎」と関連付けながら取り組む								
				高等部	生徒の発達段階や障がいの状況、並びに「自立活動」で個別に設定している目標・指導内容を踏まえ、「家庭」のB衣食住の生活と関連付けながら、「職業」のA職業生活イ「職業」、または「自立活動」として取り組む								
食に関する指導	小学部	「生活」のサ「生命・自然」、及び「体育」のG「保健」における指導内容を関連付けながら、児童の発達段階に応じて個別に目標を設定して取り組む											
	中学部	「社会」のエ「産業と生活」カ「外国の様子」、「理科」のA生命「身の回りの生物」「人の体のつくりと運動」「季節と生物」、「職業・家庭」の職業分野A職業生活イ「職業」、及び家庭分野B衣食住の生活「食事の役割」、「保健体育」のH「保健」における指導内容を適宜関連付けながら、生徒の発達段階に応じて個別に目標を設定して取り組む											
	高等部	「社会」のエ「産業と生活」カ「外国の様子」、「理科」のA生命「植物の発芽、成長、結実」「人の体のつくりと運動」「植物の養分と水の巡り道」「生物と環境」、「職業・家庭」の職業分野A職業生活イ「職業」、「家庭」のB衣食住の生活「食事の役割」「必要な栄養素を満たす食事」、「保健体育」のI「保健」における指導内容を適宜関連付けながら、生徒の発達段階に応じて個別に目標を設定して取り組む											
自立活動(全学部)	児童生徒の学習上・生活上の困難・課題に即して設定される自立活動の目標を達成するための「指導の場面」に設定し、自立活動の指導内容である6区分27項目を適宜組み合わせながら取り組む (例)【1健康の保持】【4環境の把握】【5身体の動き】障がいや重度で重複している児童生徒が、睡眠、食事、排泄などの基礎的な生活リズムを身につけるとともに、摂食・嚥下にかかる適切な姿勢の保持や上肢・手指の動作等を身につけることができる【2心理的安定】【3人間関係の形成】【6コミュニケーション】情緒的な不安定さやこだわりの強さがある児童生徒が、情緒を安定させる方法や気持ちや様子を周囲に伝える方法を身につけることで、集団の中で食事をとることができる												
		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学校給食の関連事項	月目標	身支度をきちんとしよう	よくかんで食べよう	楽しく食べよう	係の仕事をきちんとしよう	水分のとり方に気をつけよう	好き嫌いをしないで食べよう	よい姿勢で食べよう	手洗いをきちんとしよう	感謝の気持ちを持って食べよう	朝食の大切さを知ろう	1年間の反省をしよう	
	食文化の伝承		端午の節句		七夕献立	十五夜献立 お彼岸献立			冬至献立	正月料理	節分献立	ひな祭り献立 お彼岸献立	
	行事食	入学進級お祝い献立		歯と口の健康習慣献立	地産地消夏野菜 カレーの日	ラグビー給食	うま塩給食 ハロウィン給食	野菜たっぷり給食 一日まるごと大分県	クリスマス献立	給食週間献立	リクエスト献立	卒業お祝い献立	
	旬の食材	春キャベツ 菜の花・いちご たけのこ・さくら	アスパラガス 絹さや・新茶 新たまねぎ 新じゃが	梅・セロリー メロン	なす・かぼちゃ トマト・きゅうり とうもろこし	レタス・ぶどう きゅうり・梨 キャベツ・さんま	さんま・さば 里芋・さつまいも 柿・新米	ごぼう・白菜 ねぎ・栗・りんご 鮭・いわし 早生みかん	春菊・だいこん・ほうれん草・ブロッコリー・りんご・みかん・れんこん	みかん・キウイ ひじき	小松菜 ボンカン いよかん	いちご・はっさく さくら・かぶ 菜の花・あさり	
	地場産物	たけのこ・いちご	たまねぎ・じゃがいも	じゃがいも・ごぼう	きゅうり・かぼちゃ	ぶどう・梨・冬瓜	梨・さつまいも・かぼす	ほうれん草・みかん	にんじん・かぶ	にんじん・だいこん	小松菜・ボンカン	ほうれん草・いちご	
個別的な相談指導		個別的教育支援計画・個別の指導計画・対応食の実施(アレルギー対応食、形態食、再調理食等)、専門家による指導・助言(摂食指導・自立活動)											
家庭・地域・事業所等との連携	たより	食中毒予防・運動と栄養				水分のとり方・県産食材				朝食の大切さ・風邪の予防・給食週間			
	行事等			食育月間 地域連携(小 さつまいもの植え付け)		学校給食料理教室	学校給食試食会 地域連携(小 さつまいもの収穫)			地域連携(小 じゃがいもの植え付け)			
	年間	支援会議(各施設年6回) ケース会議(各学部年8回) 連絡帳 摂食指導研修会(年1回)											

令和 8 年度

# IX 基本日課

小学部

中学部

高等部

大分県立由布支援学校

1 小学部

小1 単一、重複A

	月	火	水	木	金
1	生活				
	体育				
2	国語	算数	特別活動 (学級活動)	国語	算数
3	体育	音楽	生活 / 道德	図画工作	音楽
4	生活	生活	体育	生活	生活 / 国語
給食・昼休み					
5	生活	自立活動	自立活動	自立活動	生活
					生活
6					
下校	13:20	14:10	14:10	14:10	13:20

小1 重複B

	月	火	水	木	金
1	生活				
	自立活動				
2	自立活動	算数	特別活動 (学級活動)	国語	自立活動
3	自立活動	音楽	生活 / 道德	図画工作	音楽
4	生活	生活	自立活動	生活	生活 / 自立
給食・昼休み					
5	生活	自立活動	自立活動	自立活動	生活
					生活
6					
下校	13:20	14:10	14:10	14:10	13:20

小2 単一、重複A

	月	火	水	木	金
1	生活				
	体育				
2	国語	算数	特別活動 (学級活動)	国語	算数
3	体育	音楽	生活 / 道德	図画工作	音楽
4	生活	生活	体育	生活	生活 / 国語
給食・昼休み					
5	自立活動	生活	自立活動	自立活動	生活
	生活	生活	生活	生活	
6					
下校	14:10	14:10	14:10	14:10	13:20

小2 重複B

	月	火	水	木	金
1	生活				
	自立活動				
2	自立活動	算数	特別活動 (学級活動)	国語	自立活動
3	自立活動	音楽	生活 / 道德	図画工作	音楽
4	生活	生活	自立活動	生活	生活 / 自立
給食・昼休み					
5	自立活動	生活	自立活動	自立活動	生活
	生活	生活	生活	生活	
6					
下校	14:10	14:10	14:10	14:10	13:20

小3 単一、重複A

	月	火	水	木	金
1	生活				
	体育				
2	国語	算数	特別活動 (学級活動)	国語	図画工作
3	体育	音楽	生活 / 道徳	算数	音楽
4	生活	生活	体育	生活	生活 / 算数
給食・昼休み					
5	自立活動	国語	自立活動	生活	自立活動
	生活	生活	生活		生活
6				自立活動	
				生活	
下校	14:10	14:10	14:10	15:05	14:10

小3 重複B

	月	火	水	木	金
1	生活				
	自立活動				
2	自立活動	算数	特別活動 (学級活動)	国語	図画工作
3	自立活動	音楽	生活 / 道徳	自立活動	音楽
4	生活	生活	自立活動	生活	生活 / 自立
給食・昼休み					
5	自立活動	自立活動	自立活動	生活	自立活動
	生活	生活	生活		生活
6				自立活動	
				生活	
下校	14:10	14:10	14:10	15:05	14:10

小4～6 単一、重複A

	月	火	水	木	金
1	生活				
	体育				
2	国語	音楽	特別活動 (学級活動)	国語	音楽
3	体育	算数	自立活動 / 道徳	算数	図画工作
4	生活	生活	体育	生活	生活 / 国語
給食・昼休み					
5	生活	国語	自立活動	生活 クラブ 活動	算数
	生活		生活		生活
6		自立活動		生活	
		生活		生活	
下校	14:10	15:05	14:10	15:05	14:10

小4～6 重複B

	月	火	水	木	金
1	生活				
	自立活動				
2	自立活動	音楽	特別活動 (学級活動)	国語	音楽
3	自立活動	算数	自立活動 / 道徳	自立活動	図画工作
4	生活	生活	自立活動	生活	生活 / 自立
給食・昼休み					
5	生活	国語	自立活動	生活 クラブ 活動	算数
	生活		生活		生活
6		自立活動		生活	
		生活		生活	
下校	14:10	15:05	14:10	15:05	14:10

2 中学部

中 単一、重複A

	月	火	水	木	金
1	自立活動				
	保健体育				
2	理科	保健体育	特別活動 (学級活動)	数学	保健体育
3	職業・ 家庭 【職業 分野】	社会	職業・ 家庭 【家庭 分野】	総合的 な学習 の時間	国語 ／数学 ／道徳
4		国語			音楽
給食・昼休み					
5	美術 ／国語	音楽	数学 ／国語	職業・ 家庭 【職業 分野】	国語
6	美術 ／数学	数学	自立活動	自立活動	自立活動
	自立活動		自立活動		
下校	15:05		14:10	15:05	

中 重複B

	月	火	水	木	金
1	自立活動				
2	理科	自立活動	特別活動 (学級活動)	社会	自立活動
3	自立 活動	自立活動	自立 活動	総合的 な学習 の時間	自立活動
4		自立活動			音楽
給食・昼休み					
5	美術 ／国語	音楽	自立活動	自立 活動	自立 活動
6	美術 ／数学	自立活動	自立活動		
	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動
下校	15:05		14:10	15:05	

3 高等部

高 職業生活科、生活教養科A

	月	火	水	木	金
1	自立活動				
	保健体育	職業	自立活動	保健体育	職業
			HRA		
	国語		数学	美術 ／家庭	
音楽	国語				
職業					
給食・昼休み					
5	数学	家庭 ／美術	音楽	総合的 な探究 の時間	社会 ／理科
6	職業		自立活動		社会 ／道徳
	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	
下校	15:05		14:10	15:05	

高 生活教養科B

	月	火	水	木	金
1	自立活動				
	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
	自立活動		HRA	自立活動	
	自立活動		数学 ／自立	美術 ／家庭	
音楽	国語 ／自立				
自立活動					
給食・昼休み					
5	自立活動	家庭 ／美術	音楽	総合的 な探究 の時間	社会 ／理科
6	自立活動		自立活動		社会 ／道徳
	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	
下校	15:05		14:10	15:05	